

平成29年度
入学者選抜要項



弘 前 大 学

HIROSAKI UNIVERSITY

目 次

平成29年度 弘前大学入学者選抜要項

1. 入学定員（募集人員）	1
2. 入学試験日程	2
3. 入学者選抜方法等	3
4. 入学試験区分ごとの選抜方法等	5
4-1 一般入試	5
4-2 AO入試（アドミッション・オフィス入試）	20
4-3 社会人入試	27
4-4 私費外国人留学生入試	28
5. 障がい等のある入学志願者の事前相談	31
6. 入試情報の開示	31
7. 学生募集要項等の請求方法	31
8. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	33
9. その他	44

東日本大震災により被災した弘前大学入学志願者の 入学検定料の免除について

平成28年7月
弘前大学

東日本大震災により、被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。
弘前大学では、被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るために、今年度を実施する入学者選抜試験について、次のとおり入学検定料免除の特別措置を講じます。

入学検定料の免除を希望される方は、申請前に必ず学務部入試課までご連絡ください。

1. 免除対象となる入学者選抜試験

平成28年度に実施する学部入試（編入学及び私費外国人留学生入試を除く）

平成28年度に実施する大学院入試（私費外国人留学生入試を除く）

2. 対象者

免除対象となる入学者選抜試験の志願者で、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により被災し、次のいずれかに該当することの証明が得られる方

- (1) 学資負担者が、次の災害救助法適用地域において被災し、家屋等の全壊、大規模半壊、半壊、流失の被害を受けた方
岩手県、宮城県、福島県の全市町村
青森県、茨城県、栃木県、千葉県の災害救助法適用市町村
- (2) 学資負担者が震災により死亡または行方不明の方
- (3) 居住地が福島第一原子力発電所の事故により、帰還困難地域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された方

3. 申請の方法

事前に学務部入試課に電話等で問合せてください。免除対象と判断された方は、所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。

なお、この申請を行う場合は、出願時に「入学検定料」を払い込まないでください。

諸事情により出願時までに証明書類が準備できない場合は、一旦入学検定料を払い込んで通常の出願を行い、後日証明書類が準備できた時点で申請書類を提出してください。許可となった場合は、払い込まれた入学検定料を返還いたします。

4. 申請書類

- (1) 「入学検定料免除申請書」
(本学ホームページからダウンロード (<http://www.hirosaki-u.ac.jp/~nyu/>))
- (2) 証明書類
 - ① 「り災証明書」(コピー可) (上記2の(1)に該当する方)
 - ② 「死亡または行方不明を証明する書類」(コピー可) (上記2の(2)に該当する方)
 - ③ 「被災証明書」(コピー可) (上記2の(3)に該当する方)

5. 許可または不許可の通知について

- (1) 許可者には、受験票を送付することで決定通知書に代えさせていただきます。(一旦、通常の出願を行った後の申請の場合は、入学検定料の「払戻請求書」を送付することで決定通知書に代えさせていただきます。)
- (2) 不許可者には、別途通知いたします。
この場合は、直ちに入学検定料を払い込んでください。(受験票の送付は、払い込みが確認された後となります。)

6. その他

- (1) 既に払い込まれた入学検定料の返還について、学務部入試課への連絡・申請が著しく遅れた場合は、申請に応じられなくなることがあります。(平成28年度中に入学検定料免除の許可が出せることが必要)
- (2) 入学検定料の免除を許可された方が、免除を受けるために虚偽の申請をした場合は、許可の日にさかのぼってこれを取り消します。その場合は、直ちに入学検定料を払い込んでください。
- (3) 入学料及び授業料の減免等については、本学の「入学料及び授業料の免除・徴収猶予制度」がありますので、別途申請が必要になります。
- (4) 本件について、不明の点がありましたら、下記にお問合せください。

(本件に関する書類提出先・問合せ先)

〒036-8560 弘前市文京町1番地

弘前大学学務部入試課

【学部入試担当】 TEL: 0172 (39) 3122

【大学院入試担当】 TEL: 0172 (39) 3973

FAX: 0172 (39) 3125

弘前大学ゆめ応援プロジェクト募集要項

(平成29年度入学者)

1. 目的

本プロジェクトは、自分の夢を叶えるため本学への入学を希望しているにも関わらず、経済的理由により進学をあきらめなければならない環境にある学業優秀な者に対して、入学前に経済的負担を軽減することを確約し、優秀な学生の本学への進学を応援することを目的とします。

2. 内容

入学料 (282,000円) 全額免除

3. 採用者数

24名程度

AO入試 I・II 12名程度

一般入試 (前期日程) 12名程度

4. 申請資格

次の①及び②を満たし、本学のAO入試 I・II又は一般入試 (前期日程) に出願を予定し、合格した場合は入学を確約する者

- ① 平成29年3月に高等学校又は中等教育学校 (以下「高等学校等」という。) を卒業見込みでかつ高等学校等調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者
- ② 家庭の年間総所得金額が、弘前大学における授業料免除基準以下の者

5. 申請書類受付期間及び結果通知等

	AO入試 I・II 受験者	一般入試 (前期日程) 受験者
配付開始	平成28年8月8日(月) オープンキャンパス	平成28年10月22日(土) ミニオープンキャンパス
受付期間	平成28年9月1日(木)～9月30日(金)	平成28年11月1日(火)～11月30日(水)
提出期限	平成28年9月30日(金) 必着厳守	平成28年11月30日(水) 必着厳守
結果通知	平成28年10月下旬発送	平成28年12月中旬発送

※ 申請書類は配付開始時に本学ホームページにも掲載します。所定の様式等をダウンロードし、必要書類を添付の上、期限までに提出願います。

※ 申請結果は郵送いたします。

6. 候補内定者とならなかった場合

「弘前大学ゆめ応援プロジェクト」の申請者で候補内定者とならなかった場合も、通常の「入学料免除・徴収猶予」申請が可能です。ただし、通常の入学料免除には、申請資格の特別な要件 (入学前1年以内の家計支持者の死亡、風水害等の被災) があります。選考の結果、免除許可となっても、予算の関係により半額免除となります。なお、入学料徴収猶予は、特別な要件がなくても申請可能です。

申請書類は、各選抜の学生募集要項を参照し、郵送等で請求してください。

7. 授業料免除

入学する年度の授業料免除については、通常の授業料免除申請をしていただき、選考の上、決定します。

授業料免除の決定時期は、前期が平成29年7月上旬、後期が平成29年12月上旬となります。ゆめ応援プロジェクト申請時と家計状況に大幅な変動がない場合は、全額免除又は半額免除となる予定です。

申請書類は、各選抜の学生募集要項を参照し、郵送等で請求してください。

8. 問合せ先

弘前大学学務部学生課 ゆめ応援プロジェクト担当

TEL : 0172 (39) 3117 (平日9時~17時)

本プロジェクトの申請及び選考（採用可否等）は、弘前大学入学試験の合否に一切影響しません。

1. 入学定員(募集人員)

学部	学科・課程等		入学定員	募集人員														
				一般入試		A O入試(※2)		社会人入試	私費外国人留学生入試									
				前期日程	後期日程	I	II											
人文社会科学部	文化創生課程		110	70	25	15	若干名	若干名										
	社会経営課程		155	国) 60 数) 40] (※1) 35	(※3) 20			若干名	若干名								
	計		265	170							60	35						
教育学部	学校教育教員養成専攻	小学校コース	85	55	30	/	/	若干名										
		中等学校コース	国語専修	7	7				/	/	若干名							
			社会専修	7	7							若干名						
			数学専修	8	8								若干名					
			理科専修	8	8									若干名				
			音楽専修	4	4										若干名			
			美術専修	3	3											若干名		
			保健体育専修	6	6												若干名	
			技術専修	3	3													若干名
			家庭科専修	3	3													
	英語専修	6	6	若干名														
特別支援教育専攻		10	5		5	若干名												
養護教諭養成課程		20	15		5	若干名												
計		170	130		30	10												
医学部	医学科		112		(※4) 62	/	(※5) 50	若干名	若干名									
	保健学科	看護学専攻	80		60					20	若干名							
		放射線技術科学専攻	40		30					10	若干名							
		検査技術科学専攻	40		30					10	若干名							
		理学療法学専攻	20		15					5	若干名							
		作業療法学専攻	20	15	5					若干名								
		小計		200	150					50								
		計		312	212					100								
理工学部	数物科学科		78	数) 28 数理) 27	数) 7 理) 5] (※6) 11	若干名	若干名										
	物質創成化学科		52	32	14				6	若干名								
	地球環境防災学科		65	35	20				10	若干名								
	電子情報工学科		55	32	10				(※7) 13	若干名								
	機械科学科		80	52	18				(※8) 10	若干名								
	自然エネルギー学科		30	15	5				10	若干名								
	計		360	221	79				60									
農学生命科学部	生物学科		40	28	7	5	若干名	若干名										
	分子生命科学科		40	23	11	6	若干名	若干名										
	食料資源学科		55	34	14	7	若干名	若干名										
	国際園芸農学科(※9)		50	26	12	(※10) 12	若干名	若干名										
	地域環境工学科		30	19	6	5	若干名	若干名										
	計		215	130	50	35												
合計			1,322	863	219	140	100	(※11)										

- ※1) 人文社会科学部「一般入試(前期日程)」の国)は個別学力検査における国語選択者の数、数)は数学選択者の募集人員です。
- ※2) 「A O入試 I」は大学入試センター試験を課さないものであり、「A O入試 II」は大学入試センター試験を課すものです。
- ※3) 人文社会科学部社会経営課程「A O入試 I」の募集人員20人には、商業高校等枠5人を含みます。商業高校等枠とは、商業に関する高等学校、商業又は情報処理に関する学科、総合学科(商業又は情報の単位を20単位以上修得した者)をいいます。
- ※4) 医学部医学科「一般入試(前期日程)」の募集人員62人には、青森県定着枠の募集人員12人を含みます。
- ※5) 医学部医学科「A O入試 II」の募集人員50人には、青森県内出身者30人を含みます。
- ※6) 理工学部「一般入試」の数)は個別学力検査における数学選択者の数、理)は数学及び理科選択者の募集人員です。
- ※7) 理工学部電子情報工学科「A O入試 I」では、「高等学校等の工業又は商業に関する学科(高等専門学校の学科を含む)及び総合学科」から、合わせて5人以上の合格者を予定しています。
- ※8) 理工学部機械科学科「A O入試 I」では、「高等学校等の工業に関する学科(高等専門学校の学科を含む)」から、2人程度の合格者を予定しています。
- ※9) 農学生命科学部国際園芸農学科は、「海外研修入門」が必修単位となります。詳細については、15~16ページの注記を確認してください。
- ※10) 農学生命科学部国際園芸農学科「A O入試 I」では、「高等学校等の農業、林業、水産、工業、商業、情報に関する学科」から、4人程度の合格者を予定しています。
- ※11) 「社会人入試」、「私費外国人留学生」の募集人員は、入学定員に含まれません。

2. 入学試験日程

一般入試

入試区分		日程	募集要項発表	出願期間	試験実施日	合格発表日	入学手続日
一般入試 (前期日程)	人文社会科学部	11月下旬	11月下旬	1月23日(月) ～2月1日(水)	2月25日(土)	3月6日(月)	3月15日(水)
	教育学部				2月25日(土) 及び26日(日)		
	医学部医学科				2月25日(土)		
	医学部保健学科				2月25日(土)		
	理工学部				2月25日(土)		
農学生命科学部							
一般入試 (後期日程)	人文社会科学部	11月下旬	11月下旬	1月23日(月) ～2月1日(水)	3月12日(日)	3月20日(月)	3月27日(月)
	教育学部						
	理工学部						
	農学生命科学部						

A O 入試

入試区分		日程	募集要項発表	出願期間	試験実施日	合格発表日	入学手続日
A O 入試 I	人文社会科学部	7月下旬	7月下旬	10月25日(火) ～10月31日(月)	11月19日(土)	11月28日(月)	2月14日(火)
	教育学部				11月19日(土) 及び20日(日)		
	農学生命科学部				11月20日(日)		
	理工学部				10月7日(金) ～10月14日(金)	[第1次選抜] 10月27日(木)	
A O 入試 II	医学部医学科	7月下旬	7月下旬	8月29日(月) ～9月2日(金)	[第1次選抜] 10月1日(土) 及び2日(日)	[第1次選抜] 10月21日(金)	2月7日(火)
	医学部保健学科				[第2次選抜] 11月6日(日)	[最終合格者] 2月7日(火)	
	医学部保健学科	7月下旬	7月下旬	11月21日(月) ～11月28日(月)	12月17日(土) 及び18日(日)	2月7日(火)	

社会人入試

入試区分		日程	募集要項発表	出願期間	試験実施日	合格発表日	入学手続日
社会人入試	人文社会科学部	7月下旬	7月下旬	10月25日(火) ～10月31日(月)	11月19日(土)	11月28日(月)	2月14日(火)
	医学部保健学科 (看護学専攻) (理学療法学専攻)				11月20日(日)		
	理工学部						
	農学生命科学部						

私費外国人留学生入試

入試区分		日程	募集要項発表	出願期間	試験実施日	合格発表	入学手続日
私費外国人 留学生入試	(全学部)	7月下旬	7月下旬	1月23日(月) ～2月1日(水)	2月25日(土)	3月6日(月)	3月15日(水)

3. 入学者選抜方法等

一般入試

学部	学科・課程等		前期日程					後期日程				
			個別学力 検査	実技検査等			2段階 選抜 (注1)	第2志望選抜 (注2)	個別学力 検査	実技検査等		
				実技	面接	総合				面接	小論文	
人文社会 科学部	文化創生課程		○					A			○	
	社会経営課程		○					A 国語選択 × 数学選択			○	
教育学部	学校教育 教員養成 専攻課程	小学校コース	○								○	
		中学校 コース	国語専修	○					小学校コース への第2志望 選抜を認める (注3)			
			社会専修	○								
			数学専修	○								
			理科専修	○								
			音楽専修				○					
			美術専修				○					
			保健体育専修				○					
			技術専修	○								
			家庭科専修	○							小学校コース への第2志望 選抜を認める (注3)	
英語専修	○											
	特別支援教育専攻		○									
	養護教諭養成課程		○									
医学部	医学科		○		○		○					
	保健学 科	看護学専攻	○					B				
		放射線技術科学専攻	○									
		検査技術科学専攻	○									
		理学療法学専攻	○					B				
	作業療法学専攻		○				B					
理工学部	数物科学科		○					× 数学選択 C 数学及び 理科選択	○			
	物質創成化学科		○					C	○			
	地球環境防災学科		○					C	○			
	電子情報工学科		○					C	○			
	機械科学科		○					C	○			
	自然エネルギー学科		○					C	○			
農学生命 科学部	生物学科		○					D	○			
	分子生命科学科		○					D	○			
	食料資源学科		○					E	○			
	国際園芸農学科		○					E	○			
	地域環境工学科		○						○			

(注1) 2段階選抜の詳細は、6ページの「4-1-7. 医学部医学科の2段階選抜の取扱い」を参照してください。

(注2) 第2志望選抜は、同一学部内の同一アルファベット間で認めます。

(注3) 教育学部の第2志望選抜は、中学校コースから小学校コースへの第2志望のみ実施します。

AO入試, その他入試

学部・学科等			選抜方法等		AO入試 (注1)		社会人入試		私費外国人留学生入試										
			AO入試 I	AO入試 II	小論文	面接	学力検査	実技	小論文	面接									
人文社会科学部	文化創生課程		①出願書類 ②小論文 ③個人面接			○	○			○	○								
	社会経営課程																		
教育学部	学校教育教員養成課程	初等中等教育専攻	①出願書類 ②集団討論 ③個人面接							小学校コース	○	○							
										国語専修	○	○							
										社会専修	○	○							
										数学専修	○	○							
										理科専修	○	○							
										音楽専修		○							
										美術専修		○							
										保健体育専修		○							
										技術専修		○							
										家庭科専修		○							
										英語専修		○							
										特別支援教育専攻		○							
	養護教諭養成課程			○															
医学部	医学科		①出願書類 ②模擬講義に関する筆記試験 ③個人面接 (第2次選抜) (注2) ①ケーススタディの自学自習 ②ワークショップ					○		○	○								
	保健学科	看護学専攻										①出願書類 ②小論文 ③個人面接	○	○				○	○
		放射線技術科学専攻																	
		検査技術科学専攻																	
		理学療法学専攻																	
作業療法学専攻																			
理工学部	数物科学科		①出願書類 ②個人面接 (基礎学力に関する試問を含む)					○	○		○								
	物質創成化学科																		
	地球環境防災学科																		
	電子情報工学科																		
	機械科学科																		
	自然エネルギー学科																		
農学生命科学部	生物学科		①出願書類 ②小論文 ③個人面接 (基礎学力に関する試問を含む)					○	○	○	○								
	分子生命科学科																		
	食料資源学科																		
	国際園芸農学科																		
地域環境工学科																			

(注1) AO入試 I は大学入試センター試験を課さないものであり, AO入試 II は大学入試センター試験を課すものです。

(注2) 医学部医学科及び理工学部の AO入試は, 第1次選抜の合格者に対して第2次選抜を実施します。

4. 入学試験区分ごとの選抜方法等

4-1 一般入試

4-1-1. 入学試験の実施方法

一般入試では、「前期日程」及び「後期日程」による「分離分割方式」で個別学力検査を実施します。ただし、教育学部の一部の課程・専攻・コース及び医学部医学科・保健学科では、「後期日程」での募集はしません。

4-1-2. 他大学及び本学学部間の併願

志願者は、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つの国公立大学に出願することができます。

したがって、「前期-後期」の併願は認められますが、「前期-前期」、「後期-後期」の併願は認められません。

本学学部間においても、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つの学部または同一学科・課程に併願することができます。

なお、その場合は、それぞれに出願書類を提出し、入学検定料を納めなければなりません。

4-1-3. 出願資格

一般入試に出願することができる者は、次のいずれかに該当し、かつ、平成29年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等（7～16ページの表参照）を全て受験した者としてします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成29年3月修了見込みの者
- (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (5) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和23年5月31日文部省告示第47号）
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む。）で、平成29年3月31日までに18歳に達するもの
- (8) 外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国に設置された教育施設において、高等学校に対応する3年に相当する学習歴を有する者又は有する見込みの者で、本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成29年3月31日までに18歳に達するもの

※出願資格(8)の入学資格認定を申請する者は、関係する募集要項で締切を確認のうえ、あらかじめ入試課へ申し出てください。

※医学部医学科の「青森県定着枠」を受験できる者は、上記(1)～(8)のいずれかに該当し、かつ、卒業（医師国家試験合格を前提）後、下記の事項について遵守する者です。

- ①卒業後、直ちに弘前大学医学部附属病院又は医学研究科関連施設の臨床研修プログラムにしたがって臨床研修を行うこと。
- ②上記臨床研修修了後、引き続き弘前大学医学部附属病院又は医学研究科関連施設で医療に従事すること。

- ③上記①②の定めの下で、臨床研修開始後少なくとも12年間医療に従事すること。
- ④「医療従事」の範囲及び「医療従事期間中」の詳細について、別に示す確約書内容を遵守すること。

※医学部保健学科放射線技術科学専攻の志願者は、高校で数学Ⅰ～Ⅲの科目を履修していることが必要です。

4-1-4. 出願上の注意

- (1) 大学入試センター試験において、本学の指定した教科・科目を受験しない場合（英語のリスニングを受験しない場合も含む。）は、受験できませんので、科目名、科目数には十分注意してください。
- (2) 個別学力検査等において、志望する学科等が課すすべての教科・科目等を受験しなければ失格となります。

4-1-5. 第2志望選抜

本学では、複数の学科・課程・専攻等に進学意欲を持つ受験者、あるいは将来複数の分野の職業に興味を持っている受験者に広く進学機会を与えるため、当該学科等の志望状況等を考慮のうえ、第2志望学科等に基づく入学者選抜を行います。

- (1) 第2志望選抜は、一般入試前期日程において実施します。
- (2) 第2志望選抜を実施する学科等は、3ページの「第2志望選抜」欄に示したとおりです。（同一学部内で、大学入試センター試験の利用教科・科目及び配点並びに個別学力検査の教科及び配点が統一されている学科等毎に実施します）
- (3) 該当学科等の志願者のうち、複数の学科等に進学意欲を持っている者は、出願の際に第2志望学科等を指定することができます。第2志望学科等の指定がない志願者は、出願の際にその旨を意思表示してください。
- (4) 入学者の選抜は、各学科等が定める募集人員の9割を第1志望の志願者から成績順に選考し、あとの1割は第1志望・第2志望の志願者を区別せずに成績順に選考します。

4-1-6. 医学部医学科の「青森県定着枠」と「一般枠」の取扱い

- (1) 「青森県定着枠」受験者のうち合計点の点数順に上位12人を「青森県定着枠」合格者とします。ただし、「個人面接」の点数が50%に満たない者は、順位に関わらず不合格とします。
- (2) 上記(1)の結果「青森県定着枠」において不合格となった者を「一般枠」に組み入れます。すなわち、「一般枠」の受験者に「青森県定着枠」の受験者の不合格者を合わせ、その中から上位50人を一般枠の合格者とします。

4-1-7. 医学部医学科の2段階選抜の取扱い

2段階選抜は、医学部医学科前期日程の志望倍率が8倍を超えた場合に、大学入試センター試験の教科・科目（11-12ページ参照）の成績の合計点（900点満点）により行い、その合格者に個別学力検査等を行います。ただし、上記倍率を超えた場合でも個別学力検査を適切に実施できると判断した場合は、第1段階選抜の倍率を緩和することがあります。

4-1-8. 欠員の補充方法等

合格者の入学辞退等により入学定員に欠員が生じた場合は、追加して合格者を決定することがあります。この合格者の決定は、追加合格候補者に該当する受験者本人に直接連絡し、入学する意思を確認した者について行います（追加合格候補者は発表しません）。詳細については、募集要項で公表します。

4-1-9. 平成29年度入学者選抜における旧教育課程履修者に対する経過措置について

平成29年度入学者選抜における、高等学校の旧教育課程履修者に対する経過措置は行わず、個別学力検査では、すべての教科・科目について、新教育課程により出題します。

平成29年度入学者選抜の実施教科・科目等

学部名	学力検査の区分・日程 実施する学科等名			大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験の配点						個別学力検査等の配点等						配点 合計				
				教科	科目名等	教科等	科目名等	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	計	国語	数学	理科	外国語	小論文		実技	面接	総合	計
教 育 学 部	前 期	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	初 等 学 校	小 学 校 コ ー ス	国	国語	国	国語 (注1)	200	100 又は 200	100 又は 200	100 又は 200	200	900	*400	*400	*400 (注3)	*400					400	1,300
					地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B (注2)																
					公民	現社, 倫, 政経, 倫政経	理	物理基礎, 物理, 化学基礎, 化学, 生物基礎, 生物, 地学基礎, 地学																
					数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	外	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 英語表現Ⅰ・Ⅱ																
					理	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学	国	国語 (注1)																
					外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1 (※3)	国	国語 (注1)																
							数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B (注2)																
							理	物理基礎, 物理, 化学基礎, 化学, 生物基礎, 生物, 地学基礎, 地学																
							その他	音楽総合 (注4)																
							その他	美術総合 (注5)																
		その他	保健体育総合 (注6)																					
		理	物理基礎, 物理, 化学基礎, 化学, 生物基礎, 生物, 地学基礎, 地学																					
		国	国語 (注1)																					
		外	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 英語表現Ⅰ・Ⅱ																					
		国 数	国語 (注1) 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B (注2)																					
		理	物理基礎, 物理, 化学基礎, 化学, 生物基礎, 生物, 地学基礎, 地学																					
		その他	面接																					
		特別支援教育専攻																						
		養護教諭養成課程																						
		後 期	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	初 等 学 校	小 学 校 コ ー ス																			
		AOI	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	特別支援教育専攻		教育学部のAO入試Iでは、大学入試センター試験を課しません。	その他	(1) 出願書類 (2) 集団討論 (3) 個人面接 (口頭試問を含む)	教育学部のAO入試Iでは、大学入試センター試験を課しません。															
			養護教諭養成課程																					

- 【個別学力検査等】
- (注1) 国語は、「国語総合」から出題します。
 - (注2) 個別学力検査の「数B」の出題範囲は、「数列、ベクトル」とします。
 - (注3) 個別学力検査の「理科」の得点については、得点調整を行うことがあります。
 - (注4) 調査書、実技、面接により、音楽についての能力・適性を総合的に判断します。
 - (注5) 調査書、実技、面接により、美術についての能力・適性を総合的に判断します。
 - (注6) 調査書、実技、面接により、保健体育についての能力・適性を総合的に判断します。
- 前期日程・後期日程では、「調査書」の評価を5段階評価とし、総合判定の資料とします。
 - 大学入試センター試験の「英語」の配点については、筆記試験 (200点満点) とリスニング (50点満点) の合計得点を、200点満点に換算して利用します。
 - 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は、得点の高い教科・科目の成績を用います。ただし、「地歴」、「公民」及び「理科」については、第1解答科目の成績を優先して用います。
 - 配点に*印を付している教科は、選択を表します。

平成29年度 入学者選抜の実施教科・科目等

学部名	学力検査の区分・日程 実施する学科等名		大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験の配点						個別学力検査等の配点等						配点 合計			
			教科	科目名等	教科等	科目名等	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	計	国語	数学	理科	外国語	小論文		面接	調査書	計
医 学 部	前期	医 学 科	国	国語 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 公民 現社, 倫, 政経, 倫政経	数 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B (注1) コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 英語表現Ⅰ・Ⅱ 面接 (注3)	}	3	200	100	200	200	200	900	300	300	300 (注3)	900	1,800			
	AOⅡ	医 学 科	理 外	物理, 化学, 生物 から2 (※1) 英, 独, 仏 から1 (※2)																その他	第1次選抜 (1) 出願書類 (2) 模擬講義に関する筆記試験 (3) 個人面接 (注4) 第2次選抜 (1) ケーススタディの自学自習 (2) ワークショップ	医学部医学科のAO入試では、大学入試センター試験を資格試験と位置づけ点数化はしません。
保 健 学 科 看 護 学 専 攻	前期	保 健 学 科 看 護 学 専 攻	国	国語 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 公民 現社, 倫, 政経, 倫政経	数 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B (注1) コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 英語表現Ⅰ・Ⅱ	}	2	200	100	200	200	200	900	200	200	400	1,300				
			数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 情報 から1															理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学	}	3
	AOⅡ	保 健 学 科 看 護 学 専 攻 放 射 線 技 術 科 学 専 攻 検 査 技 術 科 学 専 攻 理 学 療 法 学 専 攻 作 業 療 法 学 専 攻	保 健 学 科 放 射 線 技 術 科 学 専 攻	理	物理, 化学, 生物 から2 (※1)	}	}	3	200	100	200	200	200	900	200 (注2)	200	400	1,300				
				外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1 (※2)														理	物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物	}	2
				保 健 学 科 検 査 技 術 科 学 専 攻	数														数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 情報 から1	}		
				保 健 学 科 理 学 療 法 学 専 攻	外														英, 独, 仏, 中, 韓 から1 (※2)		数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B (注1) コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 英語表現Ⅰ・Ⅱ
保 健 学 科 作 業 療 法 学 専 攻	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 情報 から1	外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1 (※2)	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B (注1) コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 英語表現Ⅰ・Ⅱ	}	2														
保 健 学 科 作 業 療 法 学 専 攻	外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1 (※2)	その他	(1) 出願書類 (2) 小論文 (3) 個人面接	大学入試センター試験, 出願書類, 小論文及び個人面接の結果を総合した評価により選抜を行います。 大学入試センター試験 900点, 出願書類 200点, 小論文 200点, 個人面接 300点, 計 1600点とします。																	

【大学入試センター試験の利用教科・科目等】

- (※1) 理科はDパターンです。ただし、地学は選択対象外。
D 物理, 化学, 生物 から2科目選択
- (※2) 「英語」にはリスニングを含みます。

【個別学力検査等】

- (注1) 「数B」の出題範囲は、「数列, ベクトル」とします。
- (注2) 「理科」の得点については、得点調整を行うことがあります。
- (注3) 医学科「一般入試 (前期日程)」の面接は、事前に提出される「自己推薦書」を資料に用いて実施します。
ただし、面接の得点が低いと不合格になる場合があります。
- (注4) 医学科「AO入試Ⅱ」の面接は、事前に提出される「自己推薦書」を資料に用いて実施します。

- 医学科の2段階選抜は、前期日程の志願倍率が8倍を超える場合に、大学入試センター試験の教科・科目の成績の合計点 (900点満点) により行い、その合格者に個別学力検査等を行います。ただし、上記倍率を超えた場合でも個別学力検査を適切に実施できると判断した場合は、第1段階選抜の倍率を緩和することがあります。
- 保健学科放射線技術科学専攻「一般入試 (前期日程)」及び「AO入試Ⅱ」の志願者は、高校で数学Ⅰ～Ⅲの科目を履修していることが必要です。
- 医学部の前期日程では、「調査書」を5段階評価し、個別学力検査とは別に総合判定の資料とします。
- 大学入試センター試験の「英語」の配点については、筆記試験 (200点満点) とリスニング (50点満点) の合計得点を、200点満点に換算して利用します。
- 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目数を超過して受験している場合は、得点の高い教科・科目の成績を用います。
ただし、「地歴」, 「公民」については、第1解答科目の成績を用います。

平成29年度 入学者選抜の実施教科・科目等

学部名	学力検査の区分・日程 実施する学科等名	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験の配点						個別学力検査等の配点等						配点 合計											
		教科	科目名等	教科等	科目名等	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	計	国語	数学	理科	外国語	小論文		面接	調査書	計								
理 工 学 部	前期 数物科学科 (数学選択) 数物科学科 (数学科選択) 物質創成化学科 地球環境防災学科 電子情報工学科 機械科学科 自然エネルギー学科	国	国語	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B (注1)	200	100	200	200	200	900	国語	800							800	1,700								
		地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	数理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B (注1) 物理基礎・物理 化学基礎・化学							から1	2		300	500 (注2)									800	1,700			
		公民	現社, 倫, 政経, 倫政経	数理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B (注1) 化学基礎・化学							から1	2		300	500 (注2)										800	1,700		
		数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A から1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 から1	数理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B (注1) 物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 地学基礎・地学							から1	2		300	500 (注2)											800	1,700	
		理	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学	数理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B (注1) 物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 地学基礎・地学							から1	2		300	500 (注2)											800	1,700	
		外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1 (※2)	数理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B (注1) 物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 地学基礎・地学							から1	2		300	500 (注2)											800	1,700	
		[5教科7科目または5教科8科目]		数理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B (注1) 物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 地学基礎・地学							から1	2		300	500 (注2)												800	1,700
		[5教科7科目または5教科8科目]		数理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B (注1) 物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 地学基礎・地学							から1	2		300	500 (注2)												800	1,700
後期 数物科学科 (数学選択) 数物科学科 (理科選択) 物質創成化学科 地球環境防災学科 電子情報工学科 機械科学科 自然エネルギー学科	国	国語	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B (注1)	200	100	200	200	200	900	国語	600								600	1,500								
	地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	理	物理基礎・物理 化学基礎・化学							から1				600 (注2)										600	1,500			
	公民	現社, 倫, 政経, 倫政経	理	化学基礎・化学											600 (注2)											600	1,500		
	数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A から1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 から1	理	物理基礎・物理 化学基礎・化学 地学基礎・地学							から1				600 (注2)											600	1,500		
	理	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学	理	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 地学基礎・地学							から1				600 (注2)											600	1,500		
	外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1 (※2)	理	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 地学基礎・地学							から1				600 (注2)											600	1,500		
	[5教科7科目または5教科8科目]		理	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 地学基礎・地学							から1				600 (注2)												600	1,500	
	[5教科7科目または5教科8科目]		理	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 地学基礎・地学							から1				600 (注2)												600	1,500	
AOI	数物科学科 物質創成化学科 地球環境防災学科 電子情報工学科 機械科学科 自然エネルギー学科	理工学部のAO入試Iでは、大学入試センター試験を課しません。		その他	第1次選抜 (1) 出願書類 第2次選抜 (1) 講義あるいは実験の実施とその内容に関するレポート (2) レポート内容を含めた個人面接(口頭試問を含む)	理工学部のAO入試Iでは、大学入試センター試験を課しません。					第1次選抜は、出願書類による選抜を行います。募集人員の3倍程度を第1次選抜の合格者としてします。 第2次選抜は、第1次選抜の合格者に対して、講義あるいは実験の実施とその内容に関するレポート及びレポート内容を含めた個人面接(口頭試問を含む)の得点並びに第1次選抜の得点による結果を総合した評価により選抜を行います。 第1次選抜 出願書類100点 第2次選抜 講義あるいは実験の実施とその内容に関するレポート 200点, レポート内容を含めた個人面接(口頭試問を含む)200点 合計500点																		

【大学入試センター試験の利用教科・科目等】

- (※1) 理科は次のC又はDのパターンを満たしてください。
ただし、いずれの選択においても「物理基礎」、「物理」、「化学基礎」、「化学」から1科目を含むこととする。
C 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目選択及び
物理, 化学, 生物, 地学から1科目選択 (同一名称を含む科目同士の受験を認める)
D 物理, 化学, 生物, 地学から2科目選択
- (※2) 「英語」にはリスニングを含みます。

【個別学力検査等】

- (注1) 「数B」の出題範囲は、「数列, ベクトル」とします。
(注2) 「理科」の得点については、得点調整を行うことがあります。

- 前期日程・後期日程では、「調査書」の評価を5段階評価とし、総合判定の資料とします。
- 大学入試センター試験の「英語」の配点については、筆記試験(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を、200点満点に換算して利用します。
- 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は、得点の高い教科・科目の成績を用います。ただし、「地歴」、「公民」については、第1解答科目の成績を用います。

平成29年度 入学者選抜の実施教科・科目等

農学生命科学部

学部名	学力検査の区分・日程 実施する学科等名	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験の配点						個別学力検査等の配点等						配点 合計							
		教科	科目名等	教科等	科目名等	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	計	国語	数学	理科	外国語	小論文		面接	調査書	計				
農 学 生 命 科 学 部	前期 生物学科 分子生命科学科	国	国語	理	物理基礎・物理、 化学基礎・化学、 生物基礎・生物 から1	200	100	200	200	200	900			400 (注2)						400	1,300				
		地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B																			公民	現社, 倫, 政経, 倫政経	理	物理基礎・物理、 化学基礎・化学、 生物基礎・生物、 地学基礎・地学 から1
		公民	現社, 倫, 政経, 倫政経																						
	数	数I, 数I・数A から1 数II, 数II・数B, 簿, 情報 から1	数	数I・数II・数A・数B (注1)																					
	理	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 から2又は3(※1)																							
	地域環境工学科	英, 独, 仏, 中, 韓 から1 (※2)																							
後期 生物学科 分子生命科学科 食料資源学科 国際園芸農学科	地域環境工学科	外	英, 独, 仏, 中, 韓 から1 (※2)	理	化学基礎・化学、 生物基礎・生物 から1	200	100	200	200	200	900			500 (注2)					500	1,400					
																					理	物理基礎・物理、 化学基礎・化学、 生物基礎・生物、 地学基礎・地学 から1			
AO I	生物学科 分子生命科学科 食料資源学科 国際園芸農学科 地域環境工学科	農学生命科学部のAO入試Iでは、大学入試センター試験を課しません。		その他	(1) 出願書類 (2) 小論文 (3) 個人面接(口頭試問を含む)	農学生命科学部のAO入試Iでは、大学入試センター試験を課しません。						出願書類, 小論文及び個人面接の結果を総合した評価により選抜を行います。 出願書類100点, 小論文100点, 個人面接100点, 合計300点とします。													

【大学入試センター試験の利用教科・科目等】

- (※1) 理科は次のC又はDのパターンを満たしてください。
 - C 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2科目選択及び
物理, 化学, 生物, 地学から1科目選択(同一名称を含む科目同士の受験を認める)
 - D 物理, 化学, 生物, 地学から2科目選択
- (※2) 「英語」にはリスニングを含みます。

【個別学力検査等】

- (注1) 「数B」の出題範囲は、「数列, ベクトル」とします。
- (注2) 「理科」の得点については、得点調整を行うことがあります。

- 前期日程・後期日程では、「調査書」の評価を5段階評価とし、総合判定の資料とします。
- 大学入試センター試験の「英語」の配点については、筆記試験(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を、200点満点に換算して利用します。
- 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目数を超過して受験している場合は、得点の高い教科・科目の成績を用います。ただし、「地歴」、「公民」については、第1解答科目の成績を用います。

※注記

国際園芸農学科においては、2年次に1週間程度の「海外研修入門(必修)」を行います。実習経費のうち、往復旅費、宿泊料等については本学の規定の範囲内で大学負担しますが、諸経費等は個人負担となります。詳細については、入学後のオリエンテーションにおいて説明します。
なお、その他の学科においては選択科目となりますが、成績や学習意欲等に基づく面接により各学科5人を上限として、同様の経費負担で履修することができます。

4-1-11. 小論文

小論文を課する学部・課程及び問題の概要

学部・学科等		出題形式
人文 社会 科学 学部	文化創生課程（後期）	1. 人間の営みや現代社会が直面している課題について、文章などの資料を提示して、それについての自身の意見を制限字数内で記述させる。（2問、各800字以内） 2. 文章などの資料が示していることを十分に理解したうえで設問に対して自分の考えを論理的に述べ、日本語の文章として適切な表現を用いていること等を評価する。
	社会経営課程（後期）	

4-1-12. 面接

面接を行う学部・学科等及び実施方法等

学部・学科等				実施方法等
教育学部	学校 教育 教員 養成 課程	初等 中等 教育 専攻	小学校コース（後期）	複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり15分程度
医学部	医学科（前期）			複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり20分程度 出願の際に提出された「自己推薦書」を面接の資料として使用する。

4-1-13. 音楽総合, 美術総合, 保健体育総合 (教育学部)

音楽総合, 美術総合, 保健体育総合を課する学部・課程等及び実施方法等

○音楽総合

学部・課程等				実施方法等
教育学部	学校教育教員養成課程	初等中等教育専攻	中学校コース	<p>調査書, 実技, 面接により, 音楽についての能力・適性を総合的に判断する。</p> <p>(面接) 複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり10分程度</p> <p>(実技) 課題AまたはBを選択する。 いずれも実技のあと音楽に関する質疑応答を行う。</p> <p>課題A</p> <ol style="list-style-type: none"> ①コールユーブンゲン第1巻全曲から当日指定された1曲を歌うこと。 ②ハイドン, モーツァルト, ベートーヴェン作曲の任意のピアノソナタの第1楽章, あるいは最終楽章を暗譜で演奏すること。ただし, 緩徐楽章は除く。 ③コンコーネ50番(中声用)の30番から40番より1曲当日指定。母音で歌うこと。 <p>課題B</p> <ol style="list-style-type: none"> ①コールユーブンゲン第1巻全曲から当日指定された1曲を歌うこと。 ②ツェルニー100番練習曲集, ツェルニー30番練習曲集, ツェルニー40番練習曲集の中から, 任意の1曲(楽譜持込可)を演奏すること。 ③声楽または楽器(ピアノを除く)の何れかを暗譜で演奏すること。曲目は自由, 演奏時間は原則として10分以内で, 場合により途中で止めることがある。演奏曲目の総譜を当日持参し, 試験担当者に提示すること。楽器を演奏する場合は, 各自楽器を持参すること。 なお, 共演者を必要とする場合は, 受験者側で用意し, 必ず当日同伴とする。また, 事前にその旨を入試課に連絡すること。

○美術総合

学部・課程等				実施方法等
教育学部	学校教育教員養成課程	初等中等教育専攻	中学校コース	<p>調査書, 実技, 面接により, 美術についての能力・適性を総合的に判断する。</p> <p>(面接) 複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり15分程度 面接時に資料・作品等を披露してもよい。その場合は, 1人で一度に搬入搬出できるものにする。</p> <p>(実技) 基本的な造形能力をみる。 鉛筆に着彩: 「モチーフは布と箱」 サイズ: 四つ切の画用紙 鉛筆, 水彩用具一式を持参すること。 試験実施時間は3時間とする。 (ただし, イーゼル, カルトン, 筆洗は教育学部で用意する。)</p>

○保健体育総合

学 部 ・ 課 程 等				実 施 方 法 等
教 育 学 部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	初 等 中 等 教 育 専 攻	中 学 校 コ ー ス	<p>調査書，実技，面接により，体育についての能力・適性を総合的に判断する。</p> <p>(面接) 複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり15分程度</p> <p>(実技) 高等学校保健体育実技で行われている内容と同程度の運動技能テストを行う。 次のA，B，Cの3領域から各1種目，計3種目を選択すること。 なお，出願の際に「写真票」において，選択する種目を届け出ることとする。</p> <p>A領域 器械運動：マット運動，鉄棒運動等の基本技能についてテストを行う。 陸上競技：走運動，跳躍運動，投てき運動の基本技能についてテストを行う。</p> <p>B領域 柔 道：受け身，投げ技，固め技，約束練習等の基本技能についてテストを行う。 バドミントン：ショットやサービスの基本技能や攻防の技能等についてテストを行う。</p> <p>C領域 サッカー：パス，ドリブル，シュート等の基本技能や攻防の技能等についてテストを行う。 バスケットボール：パス，ドリブル，シュート等の基本技能や攻防の技能等についてテストを行う。 バレーボール：パス，スパイク，サービス等の基本技能についてテストを行う。</p> <p>持参用具 運動着・運動靴（体育館用），筆記用具，柔道を選択する場合は柔道着</p>

4-2 AO入試

4-2-1. 入学試験の実施方法等

AO入試Ⅰは、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除して選抜を行います。

AO入試Ⅱは、大学入試センター試験を課し、個別学力検査は免除して選抜を行います。

AO入試Ⅰ・Ⅱの合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を前期日程の募集人員に加えます。

4-2-2. AO入試Ⅰ

AO入試Ⅰ																				
学部等名	人文社会科学部																			
出願要件	<p>次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成23年4月以降に卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者 2. 人物、学力ともに優れ、高等学校等における調査書の全体の評定平均値が【表1】の要件を満たす者 <p>【表1】</p> <table border="1" data-bbox="365 952 1423 1227"> <thead> <tr> <th data-bbox="365 952 547 994">課 程</th> <th colspan="2" data-bbox="547 952 1141 994">高等学校等の学科</th> <th colspan="2" data-bbox="1141 952 1423 994">全体の評定平均値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="365 994 547 1048">文化創生課程</td> <td colspan="2" data-bbox="547 994 1141 1048"></td> <td colspan="2" data-bbox="1141 994 1423 1227" rowspan="3">調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者</td> </tr> <tr> <td data-bbox="365 1048 547 1173" rowspan="2">社会経営課程</td> <td data-bbox="547 1048 601 1173">A</td> <td data-bbox="601 1048 1141 1173">商業に関する高等学校、商業又は情報処理に関する学科、総合学科（商業又は情報の単位を20単位以上修得した者）※1）※2）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="547 1173 601 1227">B</td> <td data-bbox="601 1173 1141 1227">上記を含む全ての学科</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1）社会経営課程では、募集人員20人のうち上記Aの中から、5人の合格者を予定している。 ※2）Aで出願する場合は、次の資格試験のいずれかに合格していること。 ・日本商工会議所主催簿記検定試験2級 ・公益財団法人全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験1級 ・独立行政法人情報処理推進機構主催基本情報技術者試験 ・公益財団法人全国商業高等学校協会主催情報処理検定試験1級</p>					課 程	高等学校等の学科		全体の評定平均値		文化創生課程			調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者		社会経営課程	A	商業に関する高等学校、商業又は情報処理に関する学科、総合学科（商業又は情報の単位を20単位以上修得した者）※1）※2）	B	上記を含む全ての学科
課 程	高等学校等の学科		全体の評定平均値																	
文化創生課程			調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者																	
社会経営課程	A	商業に関する高等学校、商業又は情報処理に関する学科、総合学科（商業又は情報の単位を20単位以上修得した者）※1）※2）																		
	B	上記を含む全ての学科																		
選抜方法等	<p>個人面接、小論文、学習計画書・調査書の採点結果を総合して行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 面接の方法 個人面接方式（受験者は学習計画書の内容を踏まえて5分から10分以内で口頭発表し、それに基づいて複数の教員により質疑応答を行う） 1人当たり20分程度とする。（口頭発表を含む） 2. 小論文の出題形式 一つのテーマについて論述させる。（制限字数800字） 3. 配点 <table border="1" data-bbox="365 1852 1286 2011"> <thead> <tr> <th data-bbox="365 1852 671 1924">課 程</th> <th data-bbox="671 1852 821 1924">個人面接</th> <th data-bbox="821 1852 973 1924">小論文</th> <th data-bbox="973 1852 1133 1924">学習計画書 調査書</th> <th data-bbox="1133 1852 1286 1924">合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="365 1924 671 1957">文化創生課程</td> <td data-bbox="671 1924 821 1957" rowspan="2">200</td> <td data-bbox="821 1924 973 1957" rowspan="2">200</td> <td data-bbox="973 1924 1133 1957" rowspan="2">200</td> <td data-bbox="1133 1924 1286 1957" rowspan="2">600</td> </tr> <tr> <td data-bbox="365 1957 671 2011">社会経営課程</td> </tr> </tbody> </table>					課 程	個人面接	小論文	学習計画書 調査書	合 計	文化創生課程	200	200	200	600	社会経営課程				
課 程	個人面接	小論文	学習計画書 調査書	合 計																
文化創生課程	200	200	200	600																
社会経営課程																				

A O入試 I																				
実施学部等	教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻 養護教諭養成課程																			
出願要件	<p>次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 弘前大学教育学部での勉学を強く希望する者 2. 本課程または専攻のアドミッション・ポリシーを十分理解し、本課程または専攻への志望動機が明確である者 3. 高等学校若しくは中等教育学校を平成23年4月以降に卒業した者及び平成29年3月に卒業見込みの者 																			
選抜方法等	<p>本課程または専攻分野の複数のテーマに関する集団討論並びに目的、適性、意欲、関心を問う個人面接を行い、出願書類（調査書、自己PR書、活動報告書）の内容も含めて評価し、最終合格の判断を行います。</p> <p>(1) 1日目 集団討論 本課程または専攻分野のテーマに関して受験生同士で討論をさせる。</p> <p>(2) 2日目 個人面接（口頭試問を含む） 複数の教員で志望理由、適性、意欲、関心を受験者一人ずつに問う個人面接を行う。（口頭試問を含む） 学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻においては、ロールプレイやプレゼンテーション等を含むことがある。</p> <p>配点</p> <table border="1" data-bbox="363 1088 1284 1279"> <thead> <tr> <th>課程・専攻</th> <th>出願書類</th> <th>集団討論</th> <th>個人面接</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻</td> <td>100</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>養護教諭養成課程</td> <td>100</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table>					課程・専攻	出願書類	集団討論	個人面接	合計	学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	100	200	200	500	養護教諭養成課程	100	200	200	500
課程・専攻	出願書類	集団討論	個人面接	合計																
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	100	200	200	500																
養護教諭養成課程	100	200	200	500																
出願時の注意事項	<p>出願書類として、志望理由を含めた自己PR書並びに学校・家庭・地域での体験を踏まえた活動報告書を提出すること。 各々について、任意のA4サイズの用紙（片面1枚）に各自で自由に作成する。</p>																			

A O入試 I																			
学部等名	理工学部																		
出願要件	<p>次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成23年4月以降に卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者、又は高等専門学校3年次を平成29年3月修了見込みの者 2. 人物が優れ、志願する学科の教育・研究内容に強い興味があり、自発的学習意欲と問題解決のための思考力及び資質を有し、かつ十分な基礎学力を有する者 <p>※1) 電子情報工学科では、「高等学校等の工業又は商業に関する学科（高等専門学校の学科を含む）及び総合学科」から、合わせて5人以上の合格者を予定しています。</p> <p>※2) 機械科学科では、「高等学校等の工業に関する学科（高等専門学校の学科を含む）」から、2人程度の合格者を予定しています。</p>																		
選抜方法等	<p>第1次選抜 出願書類（志望理由書、自己推薦書、調査書）により選抜を行います。 募集人員の3倍程度を第1次選抜の合格者とします。なお、出願者数により、全員を第1次選抜合格者とする場合があります。</p> <p>配点 志望理由書 25点、自己推薦書 25点、調査書 50点 計 100点</p> <p>第2次選抜 第1次選抜の合格者に対して、簡単な講義あるいは実験の実施とその内容に関するレポート及びレポート内容を含めた個人面接（基礎学力に関する試問を含む）に対する得点並びに第1次選抜の得点を総合した評価により選抜を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 面接の方法 個人面接（基礎学力に関する試問を含む） 複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり15分～20分程度とする。 2. 講義あるいは実験及びその内容に関するレポート 各学科ごとに講義あるいは実験を行い、その内容に関するレポートを作成する。 3. 配点 <table border="1" data-bbox="395 1312 1393 1637"> <thead> <tr> <th>学 科</th> <th>第1次選抜</th> <th>講義・実験 及びレポート</th> <th>個人面接</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数 物 科 学 科</td> <td rowspan="5">100</td> <td rowspan="5">200</td> <td rowspan="5">200</td> <td rowspan="5">500</td> </tr> <tr> <td>物 質 創 成 化 学 科</td> </tr> <tr> <td>地 球 環 境 防 災 学 科</td> </tr> <tr> <td>電 子 情 報 工 学 科</td> </tr> <tr> <td>機 械 科 学 科</td> </tr> <tr> <td>自 然 エ ネ ル ギ ー 学 科</td> </tr> </tbody> </table>				学 科	第1次選抜	講義・実験 及びレポート	個人面接	合 計	数 物 科 学 科	100	200	200	500	物 質 創 成 化 学 科	地 球 環 境 防 災 学 科	電 子 情 報 工 学 科	機 械 科 学 科	自 然 エ ネ ル ギ ー 学 科
学 科	第1次選抜	講義・実験 及びレポート	個人面接	合 計															
数 物 科 学 科	100	200	200	500															
物 質 創 成 化 学 科																			
地 球 環 境 防 災 学 科																			
電 子 情 報 工 学 科																			
機 械 科 学 科																			
自 然 エ ネ ル ギ ー 学 科																			

A O入試 I				
学部等名	農学生命科学部			
出願要件	次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者			
	下記の学科又は課程を有する高等学校若しくは中等教育学校を平成23年4月以降に卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者			
	学 科	高校等の学科又は課程		
	生 物 学 科	農業、林業、水産、工業、情報に関する学科、又は普通科、理数科、総合学科に関する課程		
	分子生命科学科			
食料資源学科				
国際園芸農学科	農業、林業、水産、工業、商業、情報に関する学科、又は普通科、理数科、総合学科に関する課程			
地域環境工学科	農業、林業、水産、工業、情報に関する学科、又は普通科、理数科、総合学科に関する課程			
※国際園芸農学科では、募集人員12人のうち、高等学校等の農業、林業、水産、工業、商業、情報に関する学科から4人程度の合格者を予定しています。				
選抜方法等	小論文、面接、自己PR書及び調査書の結果を総合して行います。			
	1. 面接の方法			
	個人面接（基礎学力に関する試問を含む）			
	複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。			
	受験者1人当たり20分程度とする。			
2. 小論文の出題形式				
いくつかのテーマについて論述させる。(制限字数800字) 60分				
3. 配点				
学 科	小論文	面接	自己PR書 調査書	合計
生 物 学 科	100	100	100	300
分子生命科学科				
食料資源学科				
国際園芸農学科				
地域環境工学科				

AO入試Ⅰの合格者への対応

(1) 入学前教育の実施

合格者全員を対象に、民間事業者と提携した入学前教育を実施します（受講料は本学が負担）。詳細についてはおって合格者に通知します。

(2) 大学入試センター試験の任意受験

AO入試Ⅰでは、大学入試センター試験は課していませんが、合格後から大学入学までの期間の勉強意欲の継続のため、また高校時点での基礎学力を把握し入学後のフォローに活用するため、大学入試センター試験の受験を推奨しています（検定料は本人負担）。

特に『英語』については、提供いただいた成績をもとに入学後のクラス分けに活用する予定ですので、すべての学部で設定しています（リスニングを含む）。手続については募集要項で確認してください。

受験科目は、各学部・学科で下表のとおり設定しています。

平成29年度 AO入試Ⅰ合格者に対する大学入試センター試験任意受験科目一覧

学部・学科等名	センター試験の出題教科・科目	国語	地理歴史						公民			数学①				数学②				理科								外国語	備考	
			世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I	数学A	数学II	数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理学	化学	生物学	地理学	英語(リスニング含む)			
人文社会科学部	文化創生課程	◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	6教科7 又は8科目 ※一般入試と同様
	社会経営課程																													
教育学部	学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	5教科7科目 又は 6教科8科目 ※一般入試と同様	
	養護教諭養成課程																													
理工学部	数物科学科											○ 1	○	○	○	○	○											◎ 1	2教科 3科目	
	物質創成化学科											○ 1	○	○	○	○	○											◎ 1	2教科 3科目	
	地球環境防災学科											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	2教科2 又は3科目	
	電子情報工学科											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	3教科3 又は4科目	
	機械科学科											○ 1	○	○	○	○	○											◎ 1	2教科 3科目	
	自然エネルギー学科											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	3教科3 又は4科目	
農学生命学部	生物学科	◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	5教科7 又は8科目 ※一般入試と同様	
	分子生命科学科											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	3教科4 又は5科目		
	食料資源学科	◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	5教科7 又は8科目 ※一般入試と同様	
	国際園芸農学科	◎ 1										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	4教科4 又は5科目	
	地域環境工学科											○	○	○	○	○	○										◎ 1	2教科 2科目		

- 注意：1. この表は、AO入試Ⅰの合格者が任意で大学入試センター試験を受験する際、当該各学部・学科等における共通科目として最低限受験してほしい科目を学部学科等毎に示す。
- 注意：2. 学部・学科によっては高等学校の多様性に配慮して少なめの科目設定としているが、あくまで共通の下限設定なので、大学入試センター試験の出願時に実際に登録した科目を本学へのAO入試Ⅰ出願時にすべて記入し、そのまま受験すること。
- 注意：3. ◎印はそのまま受験し、○印はグループ内から選択して受験する科目を示す。
- 注意：4. □囲みの数字は受験科目数を示す。
- 注意：5. 英語については、リスニングも受験すること。

4-2-3. AO入試Ⅱ

AO入試Ⅱ																				
実施学部等	医学部 医学科																			
出願要件	<p>次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 次にあげる地域の高等学校若しくは中等教育学校を平成28年3月に卒業した者又は平成29年3月に卒業見込みの者 【青森県, 北海道, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県】 人物, 学力ともに優れ, 高等学校等における調査書の全体の評定平均値が4.3以上の者 卒業(医師国家試験合格を前提)後, 下記の事項について遵守する者 <ol style="list-style-type: none"> 卒業後, 直ちに弘前大学医学部附属病院又は医学研究科関連施設の臨床研修プログラムにしたがって臨床研修を行うこと 上記臨床研修修了後, 引き続き弘前大学医学部附属病院又は医学研究科関連施設で医療に従事すること 上記(1)(2)の定めの下で, 臨床研修開始後少なくとも12年間医療に従事すること 「医療従事」の範囲, 医学研究科関連施設及び「医療従事期間中」の詳細について, 別に示す確約書内容を遵守すること 次のとおり平成29年度大学入試センター試験の5教科7科目をすべて受験する者 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>(国語) 国語</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(地歴) 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B</td> <td>から1</td> </tr> <tr> <td>(公民) 現社, 倫, 政経, 倫政経</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(数学) 数Ⅰ・数A</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 数Ⅱ・数B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(理科) 物理, 化学, 生物</td> <td>から2</td> </tr> <tr> <td>(外国語) 英, 独, 仏</td> <td>から1</td> </tr> </table> 		(国語) 国語		(地歴) 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1	(公民) 現社, 倫, 政経, 倫政経		(数学) 数Ⅰ・数A		数Ⅱ・数B		(理科) 物理, 化学, 生物	から2	(外国語) 英, 独, 仏	から1				
(国語) 国語																				
(地歴) 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1																			
(公民) 現社, 倫, 政経, 倫政経																				
(数学) 数Ⅰ・数A																				
数Ⅱ・数B																				
(理科) 物理, 化学, 生物	から2																			
(外国語) 英, 独, 仏	から1																			
選抜方法等	<ol style="list-style-type: none"> 第1次選抜 出願書類の審査並びに模擬講義に関する筆記試験及び個人面接の得点により選抜を行う。募集人員の2倍程度を第1次選抜の合格者とする。 第2次選抜 第1次選抜の合格者を対象としてケーススタディの自学自習及びワークショップに対する得点並びに第1次選抜の得点を総合した評価により選抜を行う。なお, 平成29年度大学入試センター試験については, 資格試験と位置づけ点数化はしません。 試験科目等の配点 <table border="1" data-bbox="363 1415 1110 1704" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 60%;">試験科目等</th> <th style="width: 20%;">配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">第1次選抜</td> <td>出願書類</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>模擬講義に関する筆記試験</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>個人面接</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第2次選抜</td> <td>ケーススタディの自学自習</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>ワークショップ</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>700</td> </tr> </tbody> </table> 		区 分	試験科目等	配点	第1次選抜	出願書類	100	模擬講義に関する筆記試験	100	個人面接	200	第2次選抜	ケーススタディの自学自習	100	ワークショップ	200	計		700
区 分	試験科目等	配点																		
第1次選抜	出願書類	100																		
	模擬講義に関する筆記試験	100																		
	個人面接	200																		
第2次選抜	ケーススタディの自学自習	100																		
	ワークショップ	200																		
計		700																		
そ の 他	<ol style="list-style-type: none"> 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は, 得点の高い教科・科目の成績を用います。ただし, 「地歴」, 「公民」については, 第1解答科目の成績を用います。 医学部医学科が課す科目等の成績が合格水準に達しない場合の欠員は, 前期日程の募集人員に加えます。 一般入試の受験 AO入試Ⅱに合格しなかった者のうち, 本学が課す大学入試センター試験の教科・科目を受験した者で, 所要の手続きにより再出願を行ったものに限り, 一般の入学志願者と同様に個別学力検査等を受けることができます。 																			

A O入試Ⅱ																																																		
学部等名	医学部保健学科																																																	
出願要件	<p>次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者 2. 人物、学力ともに優れ、高等学校等の調査書において以下の要件を満たす者 <table border="1" data-bbox="363 405 1437 611"> <tr> <td>看護学専攻</td> <td>調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者</td> </tr> <tr> <td>放射線技術科学専攻</td> <td>調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者で、「数学Ⅰ～Ⅲ」の科目を履修した者</td> </tr> <tr> <td>検査技術科学専攻</td> <td>調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者</td> </tr> <tr> <td>理学療法学専攻</td> <td>調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者</td> </tr> <tr> <td>作業療法学専攻</td> <td>調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者</td> </tr> </table> 3. 次のとおり平成29年度大学入試センター試験の5教科7科目をすべて受験する者 (国語) 国語 (地歴) 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B から1 (公民) 現社, 倫, 政経, 倫政経 から1 (数学) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 情報 から1 (理科) 物理, 化学, 生物 から2 (外国語) 英, 独, 仏, 中, 韓 から1 										看護学専攻	調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者	放射線技術科学専攻	調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者で、「数学Ⅰ～Ⅲ」の科目を履修した者	検査技術科学専攻	調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者	理学療法学専攻	調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者	作業療法学専攻	調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者																														
看護学専攻	調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者																																																	
放射線技術科学専攻	調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者で、「数学Ⅰ～Ⅲ」の科目を履修した者																																																	
検査技術科学専攻	調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者																																																	
理学療法学専攻	調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者																																																	
作業療法学専攻	調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者																																																	
選抜方法等	<p>平成29年度大学入試センター試験, 小論文, 個人面接及び出願書類(調査書, 自己PR書)の結果を総合して行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 面接の方法 <table border="1" data-bbox="363 1037 1437 1256"> <tr> <th>専攻</th> <th>実施方法</th> </tr> <tr> <td>看護学専攻</td> <td rowspan="5">個人面接方式(複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う)</td> </tr> <tr> <td>放射線技術科学専攻</td> </tr> <tr> <td>検査技術科学専攻</td> </tr> <tr> <td>理学療法学専攻</td> </tr> <tr> <td>作業療法学専攻</td> </tr> </table> 2. 小論文の出題形式 専攻ごとに1つのテーマについて論述させる。(制限字数800字) 60分 3. 配点 <table border="1" data-bbox="363 1397 1437 1653"> <tr> <th rowspan="2">専攻</th> <th colspan="6">大学入試センター試験</th> <th rowspan="2">出願書類</th> <th rowspan="2">小論文</th> <th rowspan="2">面接</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>国語</th> <th>地歴</th> <th>公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> </tr> <tr> <td>看護学専攻</td> <td rowspan="5">200</td> <td rowspan="5">100</td> <td rowspan="5">200</td> <td rowspan="5">200</td> <td rowspan="5">200</td> <td rowspan="5">200</td> <td rowspan="5">200</td> <td rowspan="5">200</td> <td rowspan="5">300</td> <td rowspan="5">1,600</td> </tr> <tr> <td>放射線技術科学専攻</td> </tr> <tr> <td>検査技術科学専攻</td> </tr> <tr> <td>理学療法学専攻</td> </tr> <tr> <td>作業療法学専攻</td> </tr> </table> 										専攻	実施方法	看護学専攻	個人面接方式(複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う)	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻	理学療法学専攻	作業療法学専攻	専攻	大学入試センター試験						出願書類	小論文	面接	計	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	看護学専攻	200	100	200	200	200	200	200	200	300	1,600	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻	理学療法学専攻	作業療法学専攻
専攻	実施方法																																																	
看護学専攻	個人面接方式(複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う)																																																	
放射線技術科学専攻																																																		
検査技術科学専攻																																																		
理学療法学専攻																																																		
作業療法学専攻																																																		
専攻	大学入試センター試験						出願書類	小論文	面接	計																																								
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語																																												
看護学専攻	200	100	200	200	200	200	200	200	300	1,600																																								
放射線技術科学専攻																																																		
検査技術科学専攻																																																		
理学療法学専攻																																																		
作業療法学専攻																																																		
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験において、本学の指定した教科・科目を受験しない場合(英語のリスニング試験を受験しない場合も含む)は、本学における試験を受験しても合格者とはなりませんので科目名, 科目数には十分注意してください。 2. 大学入試センター試験の「英語」の配点は、筆記試験(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を200点満点に換算して利用します。 なお、リスニングを受験しない場合は、合格者とはならないので注意してください。 3. 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は、得点の高い教科・科目の成績を用います。ただし、「地歴」, 「公民」については、第1解答科目の成績を用います。 																																																	

4-3 社会人入試

実施学部等	人文社会科学部 文化創生課程, 社会経営課程 医学部 保健学科 (看護学専攻, 理学療法学専攻) 理工学部 数物科学科, 物質創成化学科, 地球環境防災学科, 電子情報工学科, 機械科学科, 自然エネルギー学科 農学生命科学部 生物学科, 分子生命科学科, 食料資源学科, 国際園芸農学科, 地域環境工学科																								
出願要件	<p>次の各号のいずれかに該当する者で、かつ、以下に掲げる学部・学科等ごとの出願要件を満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校を卒業した者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 3. 学校教育法施行規則第150条の規定 (ただし、同条第6号の規定を除く) により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 <table border="1" data-bbox="363 703 1455 1055"> <thead> <tr> <th>学部・学科等</th> <th>学部・学科等ごとの出願要件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人文社会科学部</td> <td>平成29年3月31日までに満23歳に達し、社会人の経験を5年以上有する者又はその見込みの者</td> </tr> <tr> <td>医学部保健学科 看護学専攻</td> <td>平成29年3月31日までに満21歳に達し、社会人の経験を3年以上有する者又はその見込みの者</td> </tr> <tr> <td>医学部保健学科 理学療法学専攻</td> <td>平成29年3月31日までに満22歳に達し、出願時において社会人の経験を満1年以上有する者</td> </tr> <tr> <td>理工学部</td> <td>平成29年3月31日までに満23歳に達し、社会人の経験を5年以上有する者又はその見込みの者</td> </tr> <tr> <td>農学生命科学部</td> <td>平成29年3月31日までに満23歳に達し、社会人の経験を5年以上有する者又はその見込みの者</td> </tr> </tbody> </table> <p>※社会人の経験には、アルバイト、家事従事等を含みます。ただし、全日制の学校 (定時制及び通信制以外の学校) の在学期間は、社会人の経験には含みません。</p>	学部・学科等	学部・学科等ごとの出願要件	人文社会科学部	平成29年3月31日までに満23歳に達し、社会人の経験を5年以上有する者又はその見込みの者	医学部保健学科 看護学専攻	平成29年3月31日までに満21歳に達し、社会人の経験を3年以上有する者又はその見込みの者	医学部保健学科 理学療法学専攻	平成29年3月31日までに満22歳に達し、出願時において社会人の経験を満1年以上有する者	理工学部	平成29年3月31日までに満23歳に達し、社会人の経験を5年以上有する者又はその見込みの者	農学生命科学部	平成29年3月31日までに満23歳に達し、社会人の経験を5年以上有する者又はその見込みの者												
学部・学科等	学部・学科等ごとの出願要件																								
人文社会科学部	平成29年3月31日までに満23歳に達し、社会人の経験を5年以上有する者又はその見込みの者																								
医学部保健学科 看護学専攻	平成29年3月31日までに満21歳に達し、社会人の経験を3年以上有する者又はその見込みの者																								
医学部保健学科 理学療法学専攻	平成29年3月31日までに満22歳に達し、出願時において社会人の経験を満1年以上有する者																								
理工学部	平成29年3月31日までに満23歳に達し、社会人の経験を5年以上有する者又はその見込みの者																								
農学生命科学部	平成29年3月31日までに満23歳に達し、社会人の経験を5年以上有する者又はその見込みの者																								
選抜方法等	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、出願書類 (調査書, 志望理由書等), 小論文及び面接の結果を総合して判定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小論文の出題形式 一つのテーマについて論述させる。 医学部保健学科理学療法学専攻は、二つのテーマについて論述させる。 2. 面接の方法 個人面接方式 (複数の教員で、受験者1人ずつの面接を行う) 1人当たり15分程度とする。 理工学部の面接では、基礎学力に関する口頭試問を含みます。 医学部保健学科看護学専攻の面接では、提出された自己推薦書をふまえて5分程度の口頭発表を行った後、口頭発表の内容について複数の教員との間で質疑応答を行ってまいります。 3. 配点 <table border="1" data-bbox="363 1628 1136 1877"> <thead> <tr> <th>学部・学科等</th> <th>小論文</th> <th>面接</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人文社会科学部</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>医学部保健学科 看護学専攻</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>医学部保健学科 理学療法学専攻</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>理工学部</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>農学生命科学部</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table>	学部・学科等	小論文	面接	合計	人文社会科学部	100	100	200	医学部保健学科 看護学専攻	100	100	200	医学部保健学科 理学療法学専攻	200	100	300	理工学部	100	100	200	農学生命科学部	100	100	200
学部・学科等	小論文	面接	合計																						
人文社会科学部	100	100	200																						
医学部保健学科 看護学専攻	100	100	200																						
医学部保健学科 理学療法学専攻	200	100	300																						
理工学部	100	100	200																						
農学生命科学部	100	100	200																						
その他	<p>合格しなかった場合の取扱い 不合格となり、改めて本学個別学力検査 (一般入試) を受験する者は、別途出願しなければなりません。</p>																								

4-4 私費外国人留学生入試

実施学部等	人文社会科学部, 教育学部, 医学部, 理工学部, 農学生命科学部																																					
出願要件	<p>入学を志願できる者は、次の(1), (2)及び(3)の全てに該当する者に限ります。</p> <p>(1) 日本の国籍を有しない者で、出入国管理及び難民認定法の規定により、大学入学に支障のない在留資格を有する者または取得できる見込みの者(注1)</p> <p>(2) 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者で、平成29年3月31日までに18歳に達する者 若しくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者で、平成29年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成29年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成29年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>⑤ 個別の入学資格審査により、我が国の学校教育12年に相当する課程の最終学校を修了した者又は修了見込みの者と認められた者で、平成29年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(3) 独立行政法人日本学生支援機構が行う「平成28年度日本留学試験」(6月又は11月)において、本学が課す科目(【別表1】日本留学試験)を受験した者(注2)</p> <p>(注1) 日本国籍を有していない者であっても、日本の高等学校(中等教育学校の後期課程を含みます)を卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者は、一般入試の入学志願者と同じ扱いになり、この入試には出願できません。</p> <p>(注2) 平成28年度日本留学試験の第1回、第2回のいずれも受験している場合は、利用する成績は受験者が指定するどちらか一方となります。両方の試験に分けての受験結果は認めません。</p>																																					
選抜方法等	<p>入学者の選抜は、平成28年度日本留学試験の成績と本学で実施する学力検査等の成績及び出願書類の審査の結果を総合して行います。</p> <p>1. 日本留学試験 受験を要する日本留学試験の実施月は、平成28年6月又は11月とします。 受験科目等は【別表1】のとおりとします。</p> <p>2. 本学で実施する学力検査等 【別表2】のとおりとします。</p> <p>3. 配点</p> <table border="1" data-bbox="363 1413 1209 1753"> <thead> <tr> <th colspan="2">学部・学科</th> <th>英 語</th> <th>小論文※</th> <th>面 接</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">人 文 社 会 科 学 部</td> <td></td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td colspan="2">教 育 学 部</td> <td></td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">医 学 部</td> <td>医 学 科</td> <td>5 段階</td> <td>5 段階</td> <td>5 段階</td> </tr> <tr> <td>保 健 学 科</td> <td></td> <td>5 段階</td> <td>5 段階</td> </tr> <tr> <td colspan="2">理 工 学 部</td> <td></td> <td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td colspan="2">農 学 生 命 科 学 部</td> <td></td> <td>200</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table> <p>※教育学部の音楽専修と美術専修は、実技検査。</p>				学部・学科		英 語	小論文※	面 接	人 文 社 会 科 学 部			100	100	教 育 学 部			100	100	医 学 部	医 学 科	5 段階	5 段階	5 段階	保 健 学 科		5 段階	5 段階	理 工 学 部				100	農 学 生 命 科 学 部			200	200
学部・学科		英 語	小論文※	面 接																																		
人 文 社 会 科 学 部			100	100																																		
教 育 学 部			100	100																																		
医 学 部	医 学 科	5 段階	5 段階	5 段階																																		
	保 健 学 科		5 段階	5 段階																																		
理 工 学 部				100																																		
農 学 生 命 科 学 部			200	200																																		
そ の 他	入学の時期は平成29年4月とします。																																					

【別表1】日本留学試験

学部・学科等		科 目						選択方法	出題言語	
		日本語	総合科目	数 学 (コース)	理 科					
					物理	化学	生物			理科の受験科目数
人文社会科学部	文化創生課程	◎	◎	◎1又は2					日本語 又は 英語	
	社会経営課程	◎	◎	◎1又は2						
教育学部	<small>員養成課程</small> <small>学校教育課程</small> 初等中等教育専攻 特別支援教育専攻	◎	◎	◎1又は2				総合科目又は 理科を選択	日本語 又は 英語	
		◎		◎2	○	○	○			○から2科目
	養護教諭養成課程	◎	◎	◎1又は2				総合科目又は 理科を選択		
		◎		◎1又は2	○	○	○			○から2科目
医学部	医 学 科	◎		◎1又は2	◎	◎		◎を2科目	日本語	
	保健学科	看護学専攻	◎		◎1又は2		◎	◎		◎を2科目
		放射線技術科学専攻	◎		◎2	◎	◎			◎を2科目
		検査技術科学専攻	◎		◎1又は2	○	○	○		○から2科目
		理学療法学専攻	◎		◎1又は2	○	○	◎		◎生物必修, さらに○から1科目
		作業療法学専攻	◎		◎1又は2	○	○	○		○から2科目
理工学部	数物科学科	◎		◎2	◎	◎		◎を2科目	日本語	
	物質創成化学科									
	地球環境防災学科									
	電子情報工学科									
	機械科学科									
自然エネルギー学科										
農学生命科学部	生物学科	◎		◎1又は2	○	○	○	○から2科目	日本語 又は 英語	
	分子生命科学科									
	食料資源学科									
	国際園芸農学科									
地域環境工学科										

注) ◎印は必修科目, ○は選択科目を表します。

【別表2】 本学が課する学力検査等

学部・学科等		学力検査	小論文	実技	面接	
人文社会科学部	文化創生課程 社会経営課程		○		○注1)	
教育学部	学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース	小学校コース		○	○	
		国語専修 社会専修 数学専修 理科専修		○	○	
		音楽専修 美術専修			○	○
		保健体育専修 技術専修 家庭科専修 英語専修		○		○
		特別支援教育専攻		○		○
	養護教諭養成課程		○		○	
医学部	医学科	○注2)	○		○	
	保健学科 看護学専攻 放射線技術科学専攻 検査技術科学専攻 理学療法科学専攻 作業療法科学専攻		○		○注3)	
理工学部	数物科学科 物質創成化学科 地球環境防災学科 電子情報工学科 機械科学科 自然エネルギー学科				○注4)	
農学生命科学部	生物学科 分子生命科学科 食料資源学科 国際園芸農学科 地域環境工学科		○		○	

注1) 人文社会科学部の面接では、英語の基礎学力に関する試問を含みます。

注2) 医学部医学科の学力検査は、「英語」の筆記試験を行います。

注3) 医学部保健学科の面接では、基礎学力に関する試問を含みます。

注4) 理工学部の面接では、基礎学力に関する試問を含みます。

5. 障がい等のある入学志願者の事前相談

病気・負傷や障がい等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする方は、各募集要項で締切を確認のうえ、あらかじめ入試課へ申し出てください。

弘前大学学務部入試課
〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地
電話 0172 (39) 3122・3123


6. 入試情報の開示

詳細については、それぞれの募集要項に掲載します。

7. 学生募集要項等の請求方法

7-1 学生募集要項の請求方法

7-1-1 弘前大学ホームページから請求する場合

ホームページから  テレメールを利用して資料請求できます。
詳しくは本学ホームページ
(<http://www.hirosaki-u.ac.jp/~nyu/>) をご覧ください。

7-1-2 スマートフォン・携帯電話から請求する場合

テレメール請求用バーコードからアクセスしてください。



7-1-3 電話で請求する場合

- ① 次の電話番号にダイヤルしてください。
IP電話 050 (8601) 0101
- ② 次の資料請求番号（6桁）をプッシュしてください。

資 料 名	資料請求番号		
大学案内	560562		
学生募集要項（AO入試Ⅰ）	580572		
学生募集要項（医学部医学科 AO入試Ⅱ）	560722		
学生募集要項（医学部保健学科 AO入試Ⅱ）	621192		
学生募集要項（社会人入試）	580622		
学生募集要項（私費外国人留学生入試）	580592		
学生募集要項（一般入試）	580552		
大学案内 + 学生募集要項（AO入試Ⅰ）	580582		
大学案内 + 学生募集要項（医学部医学科 AO入試Ⅱ）	621182		
大学案内 + 学生募集要項（医学部保健学科 AO入試Ⅱ）	600702		
大学案内 + 学生募集要項（社会人入試）	540622		
大学案内 + 学生募集要項（私費外国人留学生入試）	540592		
大学案内 + 学生募集要項（一般入試）	540552		
各学部案内 / 資料請求番号			
人文社会科学部	560572	教育学部	560582
医学部医学科	540562	医学部保健学科	560592
理工学部	540572	農学生命科学部	540582

- ③ 後は、ガイダンスに従って登録してください。

7-1-4 弘前大学入試課窓口で入手する方法

直接来学した方には、入試課窓口 [8:30 ~ 17:00] において資料を無料で配付しています。
ただし、土曜・日曜、祝日を除きます。

7-2 学生募集要項の配付予定時期

募集要項名	配付予定時期
学生募集要項 (AO入試Ⅰ)	7月下旬より配付開始 (予定)
学生募集要項 (医学部医学科 AO入試Ⅱ)	
学生募集要項 (医学部保健学科 AO入試Ⅱ)	
学生募集要項 (社会人入試)	
学生募集要項 (私費外国人留学生入試)	
学生募集要項 (一般入試)	11月下旬より配付開始 (予定)

7-3 問合せ先

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地
弘前大学 学務部 入試課
電 話 0172 (39) 3122・3123
F A X 0172 (39) 3125
E-mail nyushi@hirosaki-u.ac.jp

8. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

－ 世界に発信し、地域と共に創造する弘前大学 －

弘前大学は、その理念・目標に共感するとともに、「学位授与の方針」を十分に理解し、「教育課程編成・実施の方針」に基づいた教育を受けることが可能な学力・能力を備えた、次のような意欲ある学生を求めます。

- ・ 知的好奇心が旺盛で、教養から専門まで幅広い知識を習得しようとする人
- ・ 自主的・主体的に行動し、知的活動や社会生活において必要となる汎用的技能を身に付けようとする人
- ・ 社会の発展に貢献する態度・志向性を身に付けようとする人
- ・ 社会の課題探究や問題解決に取り組もうとする人

各学部のアドミッション・ポリシー

人文社会科学部

1 概要

多元的な文化理解と多様性認識、地域文化を含む自国の文化の創造力と発信力の養成に力を入れつつ、地域課題を含む現実の課題の解決に重点をおいた実践型教育を提供します。

このような教育を通じて、地域社会の活性化に寄与する人材の育成を目指します。

2 求める学生像

- ・ 多元的な文化理解に立って多様性認識を養い、地域の伝統文化を含む自国の文化の価値を理解し、新たな文化を創造・発信することに強い関心をもつ人
- ・ 地域の諸課題をはじめ、現代社会が直面するさまざまな課題に目を向け、その解決への積極的な取り組みをとおして、社会に貢献することに強い関心をもつ人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

弘前大学人文社会科学部には、文化創生課程・社会経営課程の二課程があります。いずれの課程で学ぶ場合も、高等学校の学習内容はとても重要です。人文社会科学分野の学問の基礎をなすものとして、国語（現代国語、古文、漢文、国語表現など）や外国語（英語のほか、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語など）の勉強によって養われるコミュニケーション能力、数学や情報の勉強によって養われる数学的思考力、数的処理能力や情報処理能力、社会（世界史、日本史、地理、現代社会、倫理、政経、倫理・政経など）の勉強によって養われる歴史・文化や社会に関する基礎的な知識を身に付けておく必要があります。

1年次には、英語で実施する講義もあります。その備えとして、英語などの外国語の検定資格（実用英語技能検定2級など）に挑戦し、外国語の運用能力を鍛えておいてください。

4 入学者選抜の基本方針

(1) 前期日程

高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から、大学入試センター試験の結果、個別学力検査の結果、及び調査書の内容を総合して選抜します。

(2) 後期日程

高等学校修了レベルの学習の成果を幅広く応用・展開し、さまざまな課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から、大学入試センター試験の結果、個別学力検査（小論文）の結果、及び調査書の内容を総合して選抜します。

(3) AO入試 I

人文社会科学部のアドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで、本学部の教育カリキュラムにもとづく主体的な学修を進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心を評価するという観点から、個人面接、小論文、学習計画書・調査書の採点結果を総合して選抜します。

【文化創生課程】

1 概要

人文科学分野の専門的知識・技能を学びつつ、国内外の歴史・文化を理解する力、地域の伝統文化を含む自国の文化的価値を創造し、発信する力を身に付けます。以上の学習をとおして、地域の文化振興や地域社会のグローバル化の推進等に寄与する人材の育成を目指します。

2 求める学生像

- ・国内外の有形・無形の文化（埋蔵文化財、美術工芸品、民俗・宗教、思想文学など）について正しく理解し、それらを人類共通の文化遺産として次世代に伝えていくことに強い関心をもつ人
- ・英語をはじめとする外国語の運用能力を身に付け、国内外の歴史・文化を正しく理解し、世界情勢を的確に見極めながら、地域社会のグローバル化の推進に寄与することに強い関心をもつ人

【社会経営課程】

1 概要

社会科学分野の専門的知識・技能を学びつつ、現実の課題解決に役立つ実践力を身に付けます。以上の学習をとおして、自治体等の政策立案、民間企業の経営戦略、地域住民との協働などの場で課題発見や課題解決のための力を主体的に発揮し、社会に寄与する人材の育成を目指します。

2 求める学生像

- ・経済学と法学の専門知識を学び、それを実践的に活用する能力を身に付け、自治体や法律関係の機関の専門家として活躍することに強い関心をもつ人
- ・経営学と会計学の専門知識を学び、企業が直面する諸課題を解決する実践力を身に付け、地域産業の育成と発展に貢献することに強い関心をもつ人
- ・社会学の理論と方法、統計・情報処理の技能を身に付け、現代の地域社会が直面する諸課題を多面的に把握し、その解決に寄与することに強い関心をもつ人

教育学部

1 概要

教育学部では、子どもの発育発達や能力に応じた主体的な学びを支援することのできる専門的知識・技能と実践的指導力を兼ね備え、学校現場や学校を取り巻く地域で活躍できる教員を養成することを目的としています。

2 求める学生像

- ・子どもに強い興味と関心があり、将来教員として地域の教育に貢献したいという明確な目的意識を持っている人
- ・教育について幅広く、かつ深く学び、探究する意欲がある人
- ・何事にも意欲的に、かつ他人と協力して取り組むことができる社会性がある人
- ・教育の専門家として必要な能力を身に付けるための十分な基礎学力を有する人

3 入学者選抜の基本方針

(1) 前期日程・後期日程

大学入試センター試験、個別学力検査、実技や面接を含む総合的な検査及び調査書の結果を総合し

て選抜します。大学入試センター試験による基礎学力の評価とともに、個別学力検査を課すことによって、総合的学力の優れた人の選抜を目指しています。

(2) AO入試 I

出願書類（調査書、自己PR書及び活動報告書）、各専門分野に関する集団討論及び個人面接により、基礎学力や各専門分野に対する目的、適性、意欲、関心を総合的に評価して選抜します。

【学校教育教員養成課程】

学校での教科指導・道徳指導・特別活動指導・総合的な学習の時間の指導、生徒指導・特別支援等を担当する教員として、必要な資質や能力を身に付け、深めていくことを目的とします。また、複雑化・多様化する教育課題や生活に密着した地域特有の教育課題に対応できる実践的指導力を備えた教員養成を目指します。

(1) 初等中等教育専攻

①概要

小学校コース、中学校コースから成り立ち、小・中学校教員として、確かな「専門の力」と「実践的指導力」を兼ね備えた教員を養成します。また「地域協働型教員養成プログラム」や「地域課題探求型科目」により、地域の教育課題に対応できる教員の養成を行うとともに、コースの枠を超えた相互連携教育により小中一貫教育へ対応できる教員の養成を行います。

②求める学生像

- ・将来、小・中学校教員として、学校教育に貢献したいという強い意志と、明確な目標を持っている人
- ・小・中学校教員として必要な「専門の力」と「実践的指導力」を身に付けるために、自律的・協働的に取り組む意欲がある人

③入学前に身に付けておいてほしいこと

- ・小学校コースを目指す人は、文系・理系に偏らず幅広く全教科・科目を学習しておくこと
- ・中学校コースを目指す人は、それぞれの専門に関係するより多くの教科・科目を学習しておくこと
- ・前述した教科・科目の学習はもとより、部活動や社会的活動など教科外活動等を幅広く経験しておくこと

(2) 特別支援教育専攻

①概要

特別支援教育に関する深い知識と技術を有し、特別支援学校や特別支援学級、通常学級など特別支援教育の現場で活躍することができる教員を養成します。

②求める学生像

- ・将来、特別支援教育の現場などにおいて、障害のある児童生徒の自立に向けた活動に関わることを強く希望する人
- ・「障害」に関して、教育や福祉、心理、病理など多方面から学び、深めていく意欲のある人

③入学前に身に付けておいてほしいこと

- ・文系・理系に偏らず幅広く全教科・科目を学習しておくこと
- ・ボランティア活動など幅広く経験しておくこと

【養護教諭養成課程】

1 概要

子どもたちの心身の健康を守り育てていく教員として、必要な資質や能力を身に付け、深めていくことを目的としています。

養護教諭は、児童・生徒、教職員他、様々な人々とコミュニケーションをとりながら、科学的思考に基づき、子ども自らが心身の健康問題を解決していけるよう支援していきます。

2 求める学生像

専門職としての社会的責任を自覚し、その活動に必要な研究研修を自ら進んで行うことのできる養護教諭の養成を目指します。そこで、次のような学生を求めます。

- 子どもの健康問題に高い関心をもつ人
- 子どもたちに対し、生涯を通して生命を大切に、自らの健康を守り高めていける力を身に付けさせたいと願う人
- 養護教諭になりたいという強い意志を持ち、学習・研究意欲が高く、努力を惜しまない人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

- 文系・理系に偏らず幅広く全教科・科目を学習しておくこと。

医学部医学科

1 概要

入学者は医学教育に対応し、自ら能力を向上させることが重要です。それにより豊富な医学知識と高い医療技術を持ち、人間性豊かな医師及び医学研究者になることを目標としています。

2 求める学生像

以下の資質をもつ人材を求めています。

- 将来医師として医療に貢献したいという明確な目的意識を持っている人
- 何事にも意欲的に取り組むことができる人
- 他人を思いやるやさしさと社会性がある人
- 医学教育を受けるに十分な学力があり、生命現象に対し強い好奇心を持っている人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

理系科目はもちろん文系科目や英語もしっかり履修し、応用力を伴った学力を身に付けること

4 入学者選抜の基本方針

(1) 前期日程

大学入試センター試験、個別学力検査、面接及び調査書の結果を総合して選抜します。

主として大学入試センター試験の成績では基礎学力を、個別学力検査では、考察力、推理力、論理的思考力、記述力を基準に評価します。面接では医療人としての適性を評価します。

(2) AO入試Ⅱ

出願書類、大学入試センター試験、面接、模擬講義に関する筆記試験、ケーススタディの自学自習、ワークショップの結果を総合して選抜します。主として大学入試センター試験の成績では基礎学力を、模擬講義に関する筆記試験、ケーススタディの自学自習及びワークショップでは、考察力、推理力、論理的思考力、記述力を基準に評価します。面接では医療人としての適性を評価します。

(3) 学士編入学（第2年次）

出願書類、TOEFL、基礎自然科学・数学、ワークショップ、面接の結果を総合して選抜します。TOEFL、基礎自然科学・数学では基礎学力を、ワークショップでは、考察力、推理力、論理的思考力、記述力を基準に評価します。面接では医療人としての適性を評価します。

医学部保健学科

1 概要

保健医療の高度な知識及び技術を習得し、豊かな人間性と問題解決能力を備え、創造性、独創性と国際的視野を有し、社会で活躍できる人材の育成を目指します。

2 求める学生像

- 保健医療専門職が掲げる目的を意識し、社会貢献に意欲ある人
- 保健医療専門職のための教育を受ける十分な学力と強い意欲のある人
- 他人を思いやるやさしさと社会性のある人

3 入学者選抜の基本方針

前期日程、AO入試Ⅱでは基礎学力及び総合的学力を評価するために、また、第3年次編入学では保健学科での勉学に関する意欲、資質等を評価するために、つぎのような方法で入学者選抜を行います。

(1) 前期日程

大学入試センター試験、個別学力検査及び調査書の結果を総合して選抜します。

(2) AO入試Ⅱ

大学入試センター試験、面接、小論文及び出願書類（調査書、自己PR書）の結果を総合して選抜します。

(3) 第3年次編入学

学力検査、小論文、面接及び提出書類の結果を総合して選抜します。

（理学療法学専攻以外では、提出書類は面接の基礎資料です。）

【看護学専攻】

1 概要

人間を理解する能力、問題解決能力を駆使して主体的に看護を行う専門の実践力、保健医療福祉の現状や社会情勢を広く視野に入れて看護学を発展・向上させる創造力、倫理観と人間性を有し、研究・教育的能力を備えた人材の育成を目指します。

2 求める学生像

- 看護学を学ぶことに強い意欲・目的意識を持っている人
- 他人に対する思いやりと協調性や社会性がある人
- 看護における課題に対して創造的に取り組める人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

- 看護学を学ぶために必要な幅広い基礎学力を備えていること

【放射線技術科学専攻】

1 概要

医療技術が日々目覚ましく進歩を遂げている中で放射線技術は診療に重要な役割をもっていることから、本専攻の教育課程は放射線の基礎から高度な専門分野までの幅広い知識を確実に学習・研究できるように配慮しています。それに加え、実際の病院実習を通して最新の医療技術を学び、チーム医療の一員として医師を含め他の医療技術者と協調して活躍できる実践的な能力を持つ人材を養成します。

2 求める学生像

- 診療放射線技師として、医療に貢献したいという意志がある人
- チーム医療推進に貢献できる協調性がある人
- 向上心や探究心を有する人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

- 理科については、物理、化学を中心とした基礎知識を習得していること

【検査技術科学専攻】

1 概要

遺伝子関連領域をはじめとする高度に専門化した医学検査に対応できる知識と技術を備え、問題解決に対する判断力および応用力、創造的知性を有する人間性豊かな臨床検査技師を養成します。さらに総合科学としての学問を追究する研究者の育成、臨床検査技師教育者の養成、チーム医療の一員としての協調性を備えた国際的に貢献できる人材を育成します。

2 求める学生像

- 臨床検査技師として、医療に貢献したいという強い意志のある人
- チーム医療の一員として活躍できる協調性を有する人
- 医学の進歩に対処できる向上心と探究心を有する人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

- 理科については、一般的な基礎知識を習得していること

【理学療法学専攻】

1 概要

人間の体の構造・働きと運動・姿勢・動作についての知識を深めます。そして、体を動かすことの障害とそれらに起因する生活上の問題を分析し、障害の軽減や生活上の問題解決を図る技術と実践能力を養います。さらに、身に付けた知識や技能を、障害を持たない人々の健康の維持・増進やスポーツ活動の場面にも広く応用できる人材を育成します。

2 求める学生像

- 理学療法士として、社会貢献したいという強い意志を持ち、何事にも努力を惜しまず、意欲的に取り組む人
- 人を尊重することができ、協調性を有する人
- 人の健康と体の動きに関心を持ち、科学的に探求することができる人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

- 理学療法を学ぶために必要な幅広い基礎学力
- 問題解決のための論理的思考能力
- 日本語と英語の文章力（読解、記述、表現）

【作業療法学専攻】

1 概要

作業療法は、精神的および身体的病気や加齢などによって精神機能や身体機能に障害を持った人々に対して、様々な作業活動を用いて主体的生活を営む能力の獲得を図る治療法です。本専攻では、リハビリテーション医学を基幹に、心理学、社会学、地域リハビリテーションなど幅広い人間科学体系を学び、健康増進の知識・技術を身に付けた、生活支援実践能力の高い人材の育成をします。

2 求める学生像

- 作業療法士として、保健・医療・福祉の分野で貢献したいという強い意志のある人
- 作業療法学の専門分野に対する興味と探求心があり、向上心を持って主体的に学ぶことのできる人
- 豊かな人間性と倫理観を持ち、協調性を持って問題解決にあたることのできる人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

- 人間に対する豊かな興味・関心を有していること
- 生体の理解や作業分析に必要な生物、物理等の基礎知識を習得していることが望ましい

理工学部

1 概要

基礎と応用，理学と工学の調和した全国的にもユニークな理工融合学部です。きめ細かな専門基礎教育と先端的な研究環境のもと，21世紀の高度情報化社会及び先端技術社会を担う個性豊かで独創性に富んだ理工系学生の育成を目標にしています。

2 求める学生像

理工学部での学習を進める上で必要不可欠な，高校で学ぶ理科や数学等に関する基礎学力や資質を有し，激しく変化する現代社会に対応できる幅広い視野を持った技術者・研究者を目指す人，科学・技術の発展への貢献に意欲と熱意を持った人

3 入学者選抜の基本方針

前期日程・後期日程では基礎学力及び総合的学力を評価するために，また，AO入試Ⅰ・第3年次編入学試験では理工学部での勉学に関する意欲，資質等を評価するために，次のような方法で入学者選抜を行います。

(1) 前期日程

大学入試センター試験，個別学力検査及び調査書の結果を総合して選抜します。

(2) 後期日程

大学入試センター試験，個別学力検査及び調査書の結果を総合して選抜します。

(3) AO入試Ⅰ

第1次選抜(出願書類による選抜)及び第2次選抜(講義あるいは実験及びその内容に関するレポート並びに個人面接(基礎学力に関する試問を含む。))の得点による結果を総合して選抜します。

(4) 第3年次編入学

①推薦選抜

面接，志望理由書，推薦書及び調査書又は成績証明書の結果を総合して選抜します。

②一般選抜

面接，志望理由書及び調査書又は成績証明書の結果を総合して選抜します。

【数物科学科】

1 概要

数学および物理学は，自然現象や社会現象の解明に必要な論理や法則を学ぶ学問です。入学後1年間の数学と物理学の教育を基礎として，2年次より3つのコース別に専門教育を行います。数理科学コースにおいては，代数学，幾何学，解析学，応用数学の知識を活用して問題を数理的に解決する能力を備えた人材を育成します。応用計算科学コースにおいては，高度情報化社会の現場において生じる諸問題を数理計算の方法を用いて解決できる人材を育てます。物質宇宙物理学コースにおいては，物質材料と宇宙に関する物理学を学ぶ事を通して，将来技術革新を起こしていくことができる技術者・研究者を育成します。

2 求める学生像

- (数学型) 数理科学へ強い興味を抱き探究心が盛んであり，豊かな数学的知識と自在な数理的応用力をもって世に出ようと欲している人
- (理科型) 電子や陽子等の極微粒子のミクロな世界から広大な宇宙の世界までを統一的に支配している自然の基本原理を探求する物理学の最前線に興味を持つ人，および先端物理学の社会への還元を目指した工学への応用に意欲を持つ人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

- (数学型) 高校の教科全般の基礎学力をもち、高校数学については概念や法則を良く理解しているうえに推論と計算の確かな力をもっていること
- (理科型) 高校の教科全般の基礎学力をベースに、理数系科目の内容をよく理解していること

【物質創成化学科】

1 概要

有機化学、無機化学、分析化学及び物理化学の学習に重点を置き、基礎学力を有した人材を育成します。これら基礎化学に加えて、二つの選択科目群（「有機・無機材料創成化学領域」及び「エネルギー・機能創成化学領域」）を設定し、各学生の専門性ならびに将来ビジョンの養成にも配慮したカリキュラムに沿って人材を育成します。そして、機能性物質の開発、環境調和を指向した機能性材料、リサイクル技術、省エネルギー・省資源技術の研究開発等に対応できる創造性豊かな化学技術者・研究者の育成を目指します。

2 求める学生像

- 材料合成力に加えて、物質の構造や反応の仕組みを物質の機能と結び付けて探求できる素養を身に付けた研究者を目指している人
- 暮らしを豊かにする新機能物質、環境調和を指向した材料、生体機能を模倣した材料等の開発、エネルギー・環境問題の解決につながる化学技術の開発等に対応できる創造性豊かな研究者・技術者を目指している人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

高校の自然系基礎科目（特に化学）の内容を習得し、論理的思考力及び文章力を備えていること

【地球環境防災学科】

1 概要

地球とそれを取り巻く領域を物理や化学を基礎として精密に扱うとともに、地球全体を一連のシステムと捉えた教育・研究を行います。それにより、地域に密着した視点とグローバルな観点から、地球環境問題や自然災害など今後の人類が直面する課題に対応できる人材を育成します。

2 求める学生像

- 宇宙空間、大気・水圏、地質・岩石、地震・火山等を対象とした地球科学に興味を持ち学習意欲がある人
- 地球環境問題や自然災害などについて、地球に関する科学や工学を通して問題の解決や災害の防止を目指す人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

自然科学の基礎的な学力を有すること

【電子情報工学科】

1 概要

電子工学、情報工学、情報科学、並びにそれらの融合領域における基礎から応用までの学識を身に付け、電子情報分野の技術革新を支える能力と教養を有し、高度情報化社会の様々な分野においてハードウェアとソフトウェアの両面から柔軟に対応できる専門的な技術者を育成することを目標としています。

2 求める学生像

先端IT分野の次世代技術を身に付けて様々な分野においてその成果を活用していく意欲を持った人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

エレクトロニクス，情報，通信，コンピュータ，マルチメディアを融合した新しい技術やシステムの基礎となる理数系の科目を履修または総合的な基礎学力を有すること

【機械科学科】

1 概要

理学の基礎をしっかりと身に付け，機械工学の基礎を基盤とし，知能システムコースでは，知能化機械技術者として国際的に活躍できる多様で柔軟な思考力を備えた創造性に富む人材を，医用システムコースでは，新産業分野として創出が加速される医用システム産業に対応できる専門性の高い人材を育成します。

2 求める学生像

医用・福祉や環境エネルギー，航空宇宙・輸送機械，ロボット，ナノテクノロジー等の科学技術分野で要求される「未来型機械システム」の設計・開発を行う技術者・研究者を目指している人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

高校の教科全般の基礎学力をもち，特に理数系学科の内容をよく理解していること

【自然エネルギー学科】

1 概要

自然エネルギーは，理学・工学などの自然科学から人文社会科学，経済学等の様々な分野と関係するため，エネルギーに関する諸問題を俯瞰的視点から検討できる人材が必要です。そのために，エネルギー資源からエネルギー変換・輸送・貯蔵・利用，そしてエネルギーシステムに関する分野をベース知識とし，グローバルな視点からエネルギー問題を総合的視点で捉えて次世代エネルギー分野へと展開できる人材を育成します。

2 求める学生像

地域に豊富に存在する自然エネルギー源を実際に利用することに熱意を持ち，そのために必要な自然科学的知識および社会科学知識の取得に意欲を持つ人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

高等学校の理科および社会に関する基礎知識を身に付けること

【農学生命科学部】

1 概要

農学と生命科学分野の基礎的・専門的な知識を身に付けた人材，課題探求・問題解決能力を備えた専門技術者・研究者として活躍できる人材及び豊かな人間性を身に付け，創造性と主体性をもって地域はもとより国際的にも活躍できる人材の育成を目指しています。

2 求める学生像

- ・農学ならびに生命科学の各分野において，基礎から応用までの幅広い学問を身に付け，地域社会の発展に貢献する意欲のある人
- ・国際社会において活躍する意欲と熱意のある人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

高等学校で履修する科目全般についての基礎を十分理解していること

4 入学者選抜の基本方針

(1) 前期日程・後期日程

大学入試センター試験，個別学力検査及び調査書の結果を総合して選抜します。大学入試センター試験による基礎学力の評価とともに，個別学力検査を課すことによって，総合的学力の優れた人の選抜を目指しています。

(2) AO入試 I

小論文，面接，自己PR書及び調査書の結果を総合して選抜します。小論文の内容の評価と面接における質疑応答では，農学生命科学部および各学科の「求める学生像」に適している人の選抜を目指しています。

【生物学科】

1 概要

遺伝・発生・生理・代謝・環境応答など根本的な生命現象に関する理解と，生物の多様性・適応戦略・進化のメカニズムや生態学，環境科学に関する知識および世界自然遺産白神山地や北日本沿岸水域の豊かな自然に関わるフィールド教育によって，生物学の基礎から専門分野への展開を可能とし，生物の基礎的現象の解明と生物科学の発展に寄与できる人材，および生物生態の動的・複合的理解，山-川-海をつなぐ自然環境の保全，水産資源の増殖に資する実際の・応用的視野を持つ人材の育成を目指します。

2 求める学生像

- 動植物の生命現象の解析を通じて，生物の基礎的現象のしくみの解明に意欲のある人
- 生物の生態や分類に興味を持ち，生物が持つ多様性，適応戦略，進化のメカニズムの解明に意欲のある人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

生物，化学及び英語を特に力を入れて学んでくること

【分子生命科学科】

1 概要

バイオテクノロジーの最先端技術に加えて物理化学や情報科学等の周辺境界領域の学問分野を取り入れ，未知の生命現象を含む様々な生命現象を細胞レベル，分子レベル，物質レベルで解明することができる人材，並びに生化学・分子生物学を中心に微生物や酵素関連の教育及び遺伝子工学・糖鎖工学などのバイオテクノロジーの最先端を教育し，生命現象の解明を通して生物の持つ潜在能力を応用に活かし，バイオマス等の次世代の有効資源利用・資源開発に貢献する人材の育成を目指します。

2 求める学生像

- 生命現象の不思議や未知の生物機能について，細胞レベル・遺伝子レベル・分子レベル・原子レベルで解明していく意欲のある人
- 生物のもつ潜在能力を掘り起こすことを通じて，次世代のバイオテクノロジーを創り出していく意欲のある人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

特に理科と英語を十分に理解しておくこと

【食料資源学科】

1 概要

①バイオテクノロジーによる食料資源の開発や改良，②環境に調和した食料資源の生産に関わる技術の開発，③食品の機能性評価や食の安全性に関わる技術の開発，において社会で活躍できる幅広い知識と専門技術を身に付けた人材の育成を目指します。

2 求める学生像

- ・作物バイオテクノロジー及び微生物バイオテクノロジーによる食料資源の開発や改良に意欲のある人
- ・微生物・昆虫・土壌と，食料資源である作物との関係を解明し，作物生産の環境的課題解決に意欲のある人
- ・食品の製造・加工技術の改良や開発，及び食品成分・安全性・健康機能の評価による食料資源の高付加価値化に意欲のある人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

理科特に生物と化学，及び英語の学力

【国際園芸農学科】

1 概要

国際化が進む世界の中で地域の農業と暮らしのよりよい未来を目指して，果樹学から作物学・蔬菜学・花卉学・畜産学及び生産機械学までの農業生産領域と食と農業をめぐる社会的経済的課題を総合的・実学的に把握して行動できる人材並びに農業生産の効率化のための農業経営や国内外の農畜産物の流通機構の改善に関する実際の・応用的な素養と能力を有する人材の育成を目標とします。

2 求める学生像

- ・自然と調和する農業生産のあり方や暮らしを豊かにする農産物の開発と利用に意欲のある人
- ・経済システムの立場から，農業をめぐる世界と地域の諸問題の解決に意欲のある人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

- ・理科全般の基礎知識を身に付け，外国語を学ぶ意欲を有していること
- ・通常科目の勉強と併せて，世界と身近な地域の農業・食料について幅広い関心を持ち，それらに関して社会的に常識的な範囲での知識を習得していること

【地域環境工学科】

1 概要

農業土木や計画から生態系や社会制度まで多方面の分野に関わる知識・技術を習得することにより，農村・山間地の環境整備・保全に関わる総合的な知識を有する人材並びに水・土・農業土木関連施設についての専門的知識及びそれらのシステムや計画に関する知識の習得を通じて，技術者の社会的責任を認識し，地域の発展に貢献できる農業土木技術者の育成を目指します。

2 求める学生像

- ・農山村の自然空間を重視した生物の生存環境の維持・保全，地域社会のあり方などの問題解決に意欲のある人
- ・土や水に関する農業土木技術を生かし，農業生産基盤の整備や地域づくりに意欲のある人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

高校の教科全般の基礎学力を持ち，特に数学，理科系の科目を意欲的に学んでいること

9. その他

9-1 「入試過去問題活用宣言」について

本学は「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認められる範囲で「宣言参加大学」及び「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した場合には、入試終了後、本学ホームページ上で公表します。

※関連サイト「入試過去問題活用宣言ページ」→ <http://www.nyushikakomon.jp/>

9-2 学外試験場について

本学では、一般入試（前期日程）において、学外試験場を設けます。

学科（学部）名	試験実施会場		
	弘前地区 試験場	八戸地区 試験場	札幌地区 試験場
人文社会科学部	○	○	○
教育学部	○	○*	○*
医学部医学科	○	×	×
医学部保健学科	○	○	○
理工学部	○	○	○
農学生命科学部	○	○	○

*音楽専修・美術専修・保健体育専修を除く

・ **弘前地区試験場** … 弘前大学

実際に試験会場となる校舎・施設等については、「学生募集要項（一般入試）」でご確認願います。

・ **八戸地区試験場** … 八戸地域地場産業振興センター（ユートリー）

青森県八戸市一番町1丁目9-22

・ **札幌地区試験場** … 北海道科学大学

札幌市手稲区前田7条15丁目4-1

◎なお、学外試験場に関するご質問は、弘前大学学務部入試課（0172-39-3122）へお願いします。八戸地域地場産業振興センター及び北海道科学大学には直接問合せることのないようお願いします。

◎また、一般入試（後期日程）、AO入試、社会人入試、私費外国人留学生入試については、学外試験場は設けず、全て弘前大学で試験を実施しますので御留意願います。

入試全般についての問合せ先

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地
弘前大学学務部入試課
電話 0172 (39) 3122, 3123



弘前大学
携帯電話サイト

医学科AO入試Ⅱに関する問合せ先

〒036-8562 青森県弘前市在府町5番地
弘前大学医学部
医学研究科学務グループ学務担当
電話 0172 (39) 5204

保健学科AO入試Ⅱに関する問合せ先

〒036-8564 青森県弘前市本町66-1
弘前大学医学部
保健学研究科学務グループ
電話 0172 (39) 5911